

豊島区における日本語学習環境と情報交流に関する実態調査
(2020年度実施)

報告書

令和3年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

2021（令和3）年11月

豊島区・学習院大学国際センター



目 次

はじめに	1
I. 背景・経緯	2
II. 調査の概要	2
1. 調査目的	
2. 調査体制	
3. 調査方法	
III. 結果と分析	4
1. 回答者について(F1~11)	4
2. 日本語学習について(問 1~6)	7
3. 日本語の使用状況について (問 7~8)	11
4. 日本語能力について(問 9~13)	13
5. 豊島区での生活について (問 14~27)	22
6. 日本語学習状況と日本語能力の関係	26
7. 日本語学習希望と日本語能力の関係	28
資料	31
・依頼状	
・質問紙	

はじめに

豊島区と学習院大学は、2020年秋に豊島区在住の外国籍区民を対象にしたアンケート調査を実施しました。調査名は「豊島区における日本語学習環境と情報交流に関する実態調査」であり、2020年度文化庁委託事業「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業」の一環として行いました。本報告書は、その結果を公表し、豊島区に暮らす外国籍区民に対する日本語学習環境の整備を検討・推進するための基礎データとして役立てていただくことを目的としています。

豊島区は、住民登録をしている外国人が区人口の9.05%（2020年9月1日現在、26,070人）を占めており、全国的な外国人比率が約2%にとどまっていることと比べると外国人の非常に多い地域です。今後も増加が予想されますが、その出身国・地域は113にのぼり、区内の多言語化・多文化化は確実に進んでいます。

住民の10人に1人ぐらいが外国籍という区ではありますが、たとえば大人向けの日本語教室（ここでは、任意団体等が無料あるいは低料金で行っている日本語教室を指します）は9教室のみで、決して多いとは言えません。しかし、各教室は、多くの外国人でいつもにぎわっているというわけでもありません。教室に通う必要のある住民が少ないのか、時間・場所が合わないのか、内容・方法に問題があるのか、様々な理由が考えられますが、それは実際に外国籍の方々に聞かないとわからないことです。また、区内で日本語を使用して生活する上で不自由はないのか、区が発信する各種の情報はどの程度活用されているのかということも把握できていませんでした。

これらを明らかにすることにより、日本語学習環境の向上や外国人が住みやすい地域を作ることが可能になると考えました。この結果を、今後の日本語学習環境の整備に役立てて参ります。また、本報告書を多くの方にお読みいただき、外国籍区民に対する理解を深めていただくと同時に、日本語が学びやすい環境、暮らしやすい環境を作っていくための方法について共にご検討いただけたら幸いです。

このたびの調査では、数多くの外国籍の方々にご回答をお寄せいただきました。また、調査準備段階より、「日本語ネットとしま」の皆様をはじめとし、区内の日本語学習支援組織や外国人支援組織等の方々にご協力いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

2021年11月25日

学習院大学 金田智子

I. 背景・経緯

日本における在留外国人数は2020年6月末には2,885,904人に達し、総人口の約2.3%を占めている。在留外国人数は、世界的な経済不況、災害、感染症などによって、一時的に減少することはあっても、今後も増加が見込まれる。豊島区は、住民登録者の9.05%（2020年9月1日現在、26,070人）が外国籍であり、一時は区人口の1割を占めたこともあるほど、外国人比率の高い地域である。

豊島区には、大人向けの「日本語教室」は9教室ある。それぞれ、異なる曜日・時間・場所で、無料あるいは教材費のみで実施されているが、日本語学習を必要とする人々がこれらの教室を有効に活用できているのか、活用できていないとすればその理由は何か、といったことについては不明である。日本に暮らす外国人が安心・安全を確保し、社会の一員として十全な生活を送れるようになるには、生活のための日本語を身に付けることは非常に大切であり、それを促す体制を地域で整えていく必要がある。体制整備のあり方を検討するためには、日本語教室をはじめとする日本語学習支援の状況、そして、外国籍区民の日本語学習や日本語能力の実態を把握することが必須と考え、それぞれについて調査を実施することにした。

まず2019年度には、豊島区内の日本語教育機関等、外国籍等区民の日本語学習を支援する団体の実態調査を行い、豊島区内の日本語学習環境を把握した。その結果を踏まえ、「豊島区日本語学習環境マップ」（7言語8種）を作成し、豊島区及び学習院大学のホームページで公開した。そして、2020年度には区在住の外国籍区民を対象としたアンケート調査を行い、日本語学習の状況や日本語能力、そして、豊島区が提供する情報等の利用状況などについて調べた。この結果をもとに、今後、豊島区内の日本語学習環境の改善に向けた検討を行っていく計画である。

尚、本調査の結果について、速報版を7言語9種（日本語、やさしい日本語、英語、韓国語、中国語〈簡体字〉、中国語〈繁体字〉、ベトナム語、ネパール語、ミャンマー語）により作成し、2020年3月に学習院大学国際センターホームページ及び、豊島区ホームページにおいて公開している。

II. 調査の概要

1. 調査目的

豊島区に暮らす外国人が、地域社会の一員として日本語を学び、用いることのできる学習環境を整備することを目指し、区内在住外国人を対象に、日本語能力、日本語学習及び日本語使用の状況、情報入手の方法等を把握する。日本語学習環境の整備・拡充に向け、課題を明らかにする。

2. 調査体制

調査実施主体：豊島区、学習院大学

協力：日本語ネットとしま

3. 調査方法

(1) 調査区域：豊島区全域

(2) 調査対象：豊島区に住民登録をしている18歳以上の外国籍区民。

住民基本台帳より単純無作為抽出（2020年9月1日現在の登録状況による）。

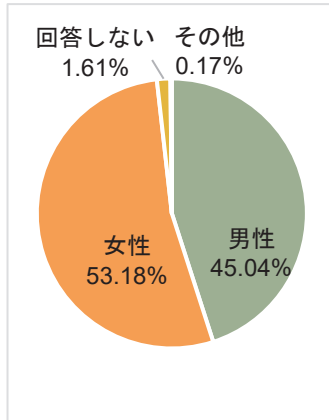
(3) 対象者数：10,000人

- (4) 調査内容・項目：
- 1) 日本語学習に関する項目：在住外国人の日本語学習状況，日本語能力，日本語使用状況等（文化庁「日本語教育に関する調査の共通利用項目」を一部修正して利用）
 - 2) 情報交流に関わる項目：情報・施設の活用状況，等
 - 3) 属性
- (5) 調査方法：自記式調査票（ウェブアンケート）
- *対象者にウェブアンケートの URL，QR コードを記載した依頼状を郵送
- (6) 言語：区在住外国籍区民の状況から 7 言語・9 種により実施。
- *日本語，やさしい日本語，英語，韓国語，中国語（簡体字，繁体字），ベトナム語，ネパール語，ミャンマー語
- (7) 調査期間：令和 2 年 10 月 13 日(火)～11 月 1 日(日)
- (8) 回収数：1,348 件
- *最終発送数は 9,630 件。転出，帰化等，在住状況の変化を反映したため。
- (9) 集計・分析：令和 2 年 11 月 2 日より開始し，単純集計，クロス集計作業を行う。
- (10) 有効回答数：1,179 件

Ⅲ. 結果と分析

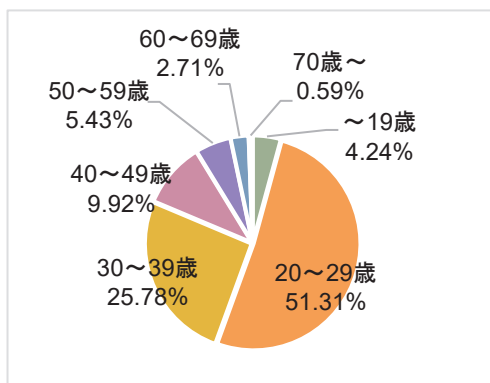
1. 回答者について (F1～11)

(1) 性別 (F1) 回答者数=1,179 人

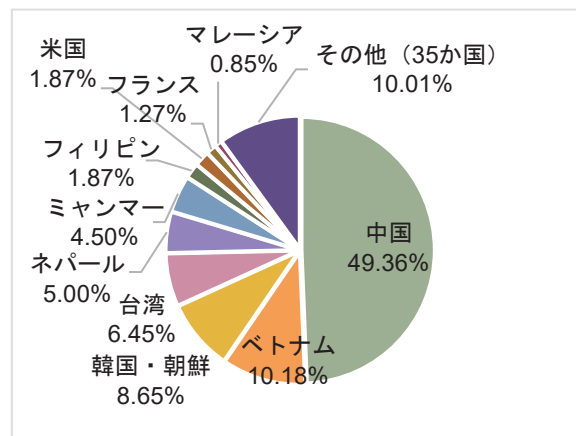


回答者の性別は、男性 531 人(45.04%)、女性 627 人(53.18%)、回答しない 19 人(1.61%)、その他 2 人(0.17%)でした。対象者を抽出した令和 2 年 9 月 1 日現在の豊島区外国人人口は、男性 12,953 人、女性 13,117 人、とほぼ同数となっていることから、回答者は、豊島区に住民登録をしている外国籍区民の性別内訳よりも若干女性が多くなっています。

(2) 年齢 (F2) 回答者数=1,179 人



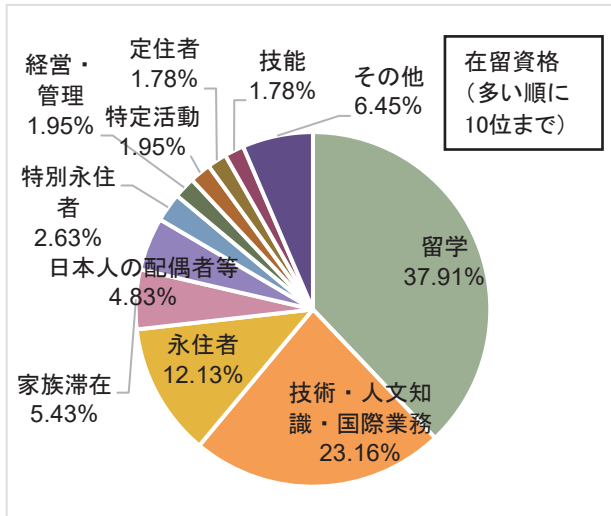
(3) 出身国・地域 (F3) 回答者数=1,179 人



年齢別では、20～29 歳が約半数を占め、30～39 歳が約 1/4、それ以外が約 1/4 となっています。

出身国・地域別では、中国が約半数、ベトナムが約 10%、以下、多い順に韓国・朝鮮、台湾、ネパール、ミャンマーとなりました。2020 年 9 月 1 日現在の豊島区外国人人口では、中国が約 45%、ベトナムが約 10%とほぼ同じ比率となっており、以下、ネパール、韓国、ミャンマー、台湾の順となっており、上位 6 か国が同じとなっています。

(4) 在留資格 (F4) 回答者数=1,179 人



回答者の在留資格は、「留学」の割合が最も高く 37.91%となっています。次いで「技術・人文知識・国際業務」23.16%、「永住者」12.13%、「家族滞在」5.43%となっています。

在留資格(回答全て)	回答数(%)
1.特別永住者	31 (2.63%)
2.永住者	143(12.13%)
3.留学	447(37.91%)
4.技能実習	9(0.76%)
5.定住者	21(1.78%)
6.日本人の配偶者等	57(4.83%)
7.家族滞在	64(5.43%)
8.技術・人文知識・国際業務	273(23.16%)
9.経営・管理	23(1.95%)
10.技能	21(1.78%)
11.特定活動	23(1.95%)
12.永住者の配偶者等	9(0.76%)
13.高度専門職	17(1.44%)
14.企業内転勤	6(0.51%)
15.教授	4(0.34%)
16.教育	10(0.85%)
17.その他	21(1.78%)

(5) 日本在住期間 (F5) 回答者数=1,179 人

	回答数(%)
6か月未満	4(0.34%)
6か月以上～12か月未満	66(5.60%)
1年以上～3年未満	403(34.18%)
3年以上～5年未満	217(18.41%)
5年以上～10年未満	211(17.90%)
10年以上～15年未満	122(10.35%)
15年以上	156(13.23%)

(6) 豊島区在住期間 (F6) 回答者数=1,179 人

	回答数(%)
6か月未満	75(6.36%)
6か月以上～12か月未満	199(16.88%)
1年以上～3年未満	454(38.51%)
3年以上～5年未満	161(13.66%)
5年以上～10年未満	156(13.23%)
10年以上～15年未満	59(5.00%)
15年以上	75(6.36%)

(7) 日本在住予定期間 (F7) 回答者数=1,179 人

	回答数(%)
6か月未満	15(1.27%)
6か月以上～12か月未満	21(1.78%)
1年以上～3年未満	101(8.57%)
3年以上～5年未満	108(9.16%)
5年以上	164(13.91%)
住み続ける	511(43.34%)
まだ決めていない	259(21.97%)

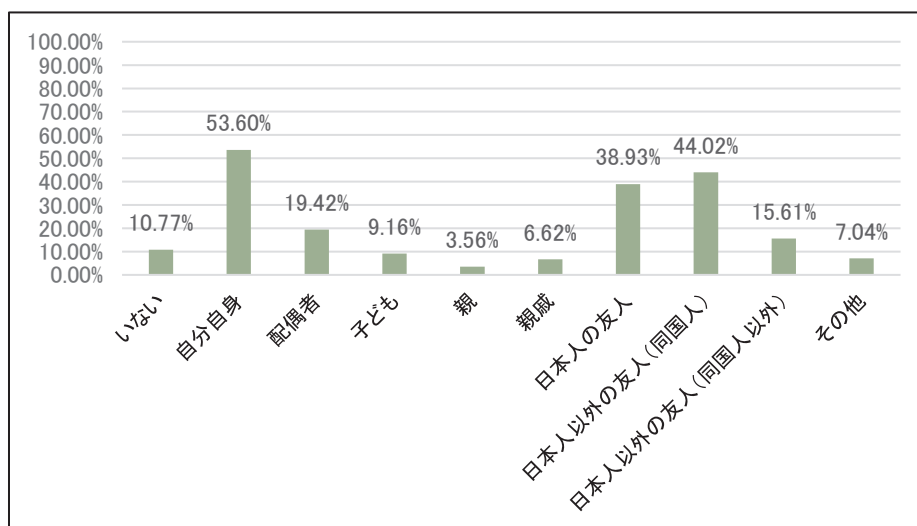
回答者の4割以上が「住み続ける」と答え、「5年以上」と合わせると、6割近くの人が、長期間日本で暮らす予定となっています。一方で「5年未満」の期間を合わせると2割、「まだ決めていない」が2割となっています。

(8) 仕事の有無 (F8) 回答者数=1,179人

	回答数(%)
仕事をしている	732(62.09%)
仕事をしていない(今, 探している)	173(14.67%)
仕事をしていない(探していない)	274(23.24%)

(9) 日本語による情報収集・発信ができる人(本人または身近な人) 回答者数=1,179人

*複数回答可 (F9)



自分自身で日本語による情報収集・発信ができると答えた人の割合は53.60%で、約半数は自分ではできないことがわかります。さらに、日本語による情報収集・発信ができる人が身近にいないと答えた人が10%います。10人に1人は、日本語による情報収集・発信ができない状況にあることがわかります。

(10) 5年以内に呼び寄せたい人 *複数回答可 (F10) 回答者数=1,179人

	回答数(%)
いない	662(56.15%)
配偶者	77(6.53%)
子ども	58(4.92%)
親	315(26.72%)
その他	177(15.01%)

(11) 読んで理解できる言語 *複数回答可 (F11) 回答者数=1,179人

日本語	中国語	韓国・朝鮮語	英語	フィリピン語	ベトナム語	ネパール語	ミャンマー語	タイ語	その他
987 (83.72%)	687 (58.27%)	130 (11.03%)	729 (61.83%)	23 (1.95%)	112 (9.50%)	59 (5.00%)	48 (4.07%)	9 (0.76%)	124 (10.52%)

回答者の83.72%は日本語を読んで理解できると答えています。また、中国語、英語を選択した人も60%前後います。

調査では7言語 9種類の調査票から回答しやすい言語を選んでもらいました。その結果、有効回答 1,179 件のうち「日本語版」での回答が 310 件ありました。「Ⅲ.2, 3, 4, 5」については、日本語学習を必要とする人の回答傾向を明らかにする必要があると考え、「日本語版」と「日本語版以外」の回答者に差異があるかを分析しました。以下、違いの有無を示す意味がある場合は、「日本語版以外」「日本語版」「全体回答」の3つに分けて示します。

2. 日本語学習について(問1～6)

(1) 日本語学習経験の有無(問1) 回答者数=1,179人

	回答数(%)
1.学習したことがある	1065 (90.33%)
2.学習したことがない	114 (9.67%)

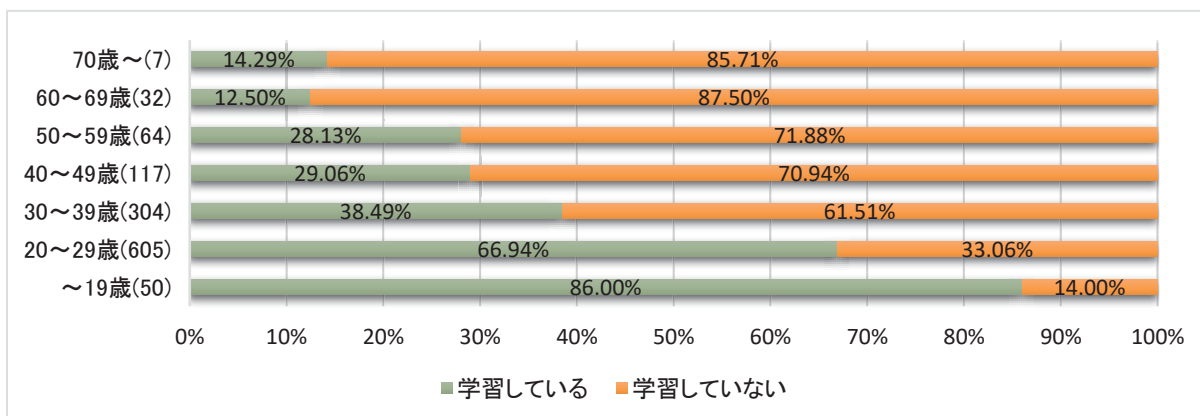
全回答者のうち日本語学習経験がある人は9割を超え、多くの回答者が日本語を学んだことがあることがわかりました。「日本語版」、「日本語版以外」の回答者にほぼ差がありませんでした。

(2) 日本語を学習中かどうか(問2)

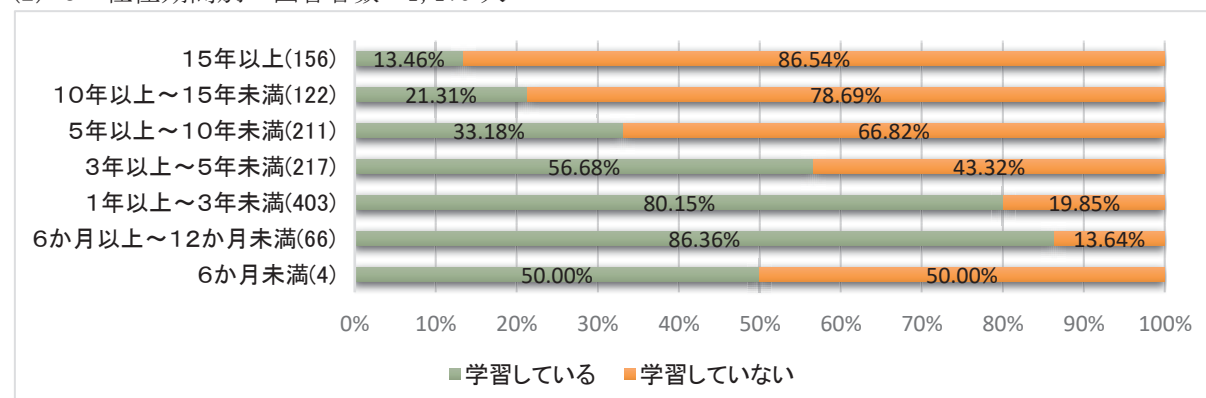
(2)-1 日本語版以外/日本語版/全体 回答者数=1,179人

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.学習している	507(58.34%)	115(37.10%)	622(52.76%)
2.学習していない	362(41.66%)	195(62.90%)	557(47.24%)

(2)-2 年齢別 回答者数=1,179人



(2)-3 在住期間別 回答者数=1,179人



現在、日本語を学習している人は全体では50%強ですが、「日本語版」の回答者では4割にも満たなかった一方で、「日本語版以外」の回答者では6割近くいました。

年齢別では、「70歳以上」を除くと、年齢が下がるにつれて「学習している」人の割合が高くなっています。在住期間別では、「6か月未満」を除くと、在住期間が長くなるにつれて「学習している」人の割合が低くなっています。

(3) 日本語学習の方法(問3)

(3)-1 日本語版以外／日本語版／全体*(2)で「学習している」と答えた人=622人 *複数回答可

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.独学で(教科書やテレビ等)	275(54.24%)	67(57.39%)	341(54.82%)
2.独学で(インターネットやアプリ等)	282(55.62%)	61(53.04%)	343(55.14%)
3.通信教育で学んでいる	35(6.90%)	8(6.96%)	43(6.91%)
4.無料の日本語教室で学んでいる	27(5.33%)	5(4.35%)	32(5.14%)
5.有料の日本語教室で学んでいる	47(9.27%)	7(6.09%)	54(8.68%)
6.日本語学校で学んでいる	215(42.41%)	38(33.04%)	253(40.68%)
7.家族から学んでいる	10(1.97%)	10(8.70%)	20(3.22%)
8.職場で学んでいる	82(16.17%)	27(23.48%)	109(17.52%)
9.友達(日本人)から学んでいる	91(17.95%)	32(27.83%)	123(19.77%)
10.友達(日本人以外)から学んでいる	44(8.68%)	7(6.09%)	51(8.20%)
11.周りの会話を聞いて覚えている	168(33.14%)	57(49.57%)	225(36.17%)
12.その他	45(8.88%)	9(7.83%)	54(8.68%)

(3)-2 日本語学習の方法：年齢別 * (2)で「学習している」と答えた人=622人 *複数回答可

*以下の表は見やすさを考慮し、選択肢の表現を意味内容に影響を与えない範囲で簡略化しています。

*60～69歳(4人)、70歳(1人)は人数が少ないため、表に含めていません。

位	～19歳(43)	20～29歳(405)	30～39歳(117)	40～49歳(34)	50～59歳(18)
1	6.日本語学校 (81.40%)	2.独学(ネット) (55.56%)	3.独学(教科書) (68.38%)	3.独学(教科書) (76.47%)	3.独学(教科書) (72.22%)
2	2.独学(ネット) (30.23%)	3.独学(教科書) (51.85%)	2.独学(ネット) (62.39%)	2.独学(ネット) (67.65%)	2.独学(ネット) (33.33%)
3	3.独学(教科書) (25.58%)	6.日本語学校 (46.42%)	11.周りの会話 (37.61%)	11.周りの会話 (47.06%)	11.周りの会話 (27.78%)
4	11.周りの会話 (18.60%)	11.周りの会話 (37.28%)	8.職場で (31.62%)	8.職場で (23.53%)	9.友達(日本人) (22.22%)
5	9.友達(日本人) (13.95%)	9.友達(日本人) (21.23%)	6.日本語学校 9.友達(日本人) (20.51%)	4.無料の日本語教室 7.家族 (11.76%)	6.日本語学校 7.家族 8.職場で(16.67%)

現在、日本語を学んでいる人たちの約40%は、日本語学校で学んでいます。その一方で、日本語教室で学んでいる人は、無料のところであっても5%前後です。「独学」や、「周りの会話を聞いて覚えている」というような、一人でできる方法を用いている人が少なくないことがわかります。

年齢別では、「19歳未満」の80%以上、「20～29歳」の50%近くが日本語学校で学んでいます。「30～39歳」では、日本語学校で学ぶ人は2割程度で、「独学」や「職場」で学ぶ人の割合が高くなっています。「20～29歳」以上では、半数以上が「独学」で学んでいることがわかります。

(4) 日本語学習の理由(問4) * (2)で「学習している」と答えた人=622人 *複数回答可

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.日本で生活していくために必要だから	401(79.09%)	91(79.13%)	492(79.10%)
2.日本人との付き合いを広げるため	226(44.58%)	55(47.83%)	281(45.18%)
3.仕事で必要だから	236(46.55%)	55(47.83%)	291(46.78%)
4.より良い条件の仕事を探すため	213(42.01%)	45(39.13%)	258(41.48%)
5.進学や勉強のため	271(53.45%)	61(53.04%)	332(53.38%)
6.その他	35(6.90%)	16(13.91%)	51(8.20%)

学習の理由・目的は「日本で生活していくために必要」が約80%を占めており、「日本語版以外」と「日本語版」の違いはほとんどありません。

(5) 日本語学習希望の有無(問5) * (2)で「学習していない」と答えた人=557人

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.学習したい	254(70.17%)	80(41.03%)	334(59.96%)
2.学習したいとは思わない	108(29.83%)	115(58.97%)	223(40.04%)

現在日本語学習をしていない人の内、「日本語版以外」では70%の人が学習を希望しています。

(6) 現在日本語を学習していない理由(問6)

(6)-1 日本語版以外/日本語版/全体 *複数回答可

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.日本語が第一言語(母語)だ	2(0.55%)	38(19.49%)	40(7.18%)
2.十分な日本語能力を身につけた	①155(42.82%)	112(57.44%)	①267(47.94%)
3.日本語を使う必要がない	9(2.49%)	2(1.03%)	11(1.97%)
4.日本語以外の言語で十分生活ができる	26(7.18%)	3(1.54%)	29(5.21%)
5.育児のため、日本語を学ぶ時間的余裕がない	35(9.67%)	6(3.08%)	41(7.36%)
6.仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がない	②129(35.64%)	40(20.51%)	②169(30.34%)
7.日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がない	64(17.68%)	11(5.64%)	75(13.46%)
8.日本語教室の情報がない	③72(19.89%)	12(6.15%)	③84(15.08%)
9.日本語教室の時間が合わない	42(11.60%)	7(3.59%)	49(8.80%)
10.日本語教室が遠くて通うことができない	14(3.87%)	1(0.51%)	15(2.69%)
11.日本語教室の教え方や内容、レベルが合わない	19(5.25%)	7(3.59%)	26(4.67%)
12.どうやって勉強したらいいかわからない	④68(18.78%)	11(5.64%)	④79(14.18%)
13.日本語学習用の適切な教材がない	27(7.46%)	4(2.05%)	31(5.57%)
14.日本語学習に対して家族の理解が得られない	0(0.00%)	1(0.51%)	1(0.18%)
15.学ぶ意欲が湧かない	21(5.80%)	8(4.10%)	29(5.21%)
16.その他	20(5.52%)	12(6.15%)	32(5.75%)

現在日本語を学習していないという人たち（557人）に、学習していない理由を聞きました。「日本語版以外」の回答者で、「十分な日本語能力を身につけた」の次に多かったのは、「仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がない」「日本語教室の情報がない」「どうやって勉強したらいいかわからない」です。時間がない、学ぶための情報がない、という方が少なくないことがわかります。

(6)-2 日本語を学習したいが現在学習していない理由 *複数回答可

位	理由	
1	仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がない	132(39.52%)
2	十分な日本語能力を身につけた	115(34.43%)
3	日本語教室の情報がない	81(24.25%)
4	どうやって勉強したらいいかわからない	74(22.16%)
5	日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がない	67(20.06%)
6	日本語教室の時間が合わない	43(12.87%)

現在学習していないと回答した人の中で「学習したい」と答えた人（334人）に絞ると、学習していない理由で一番多いのは「仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がない」で、「十分な日本語能力を身につけた」、「日本語教室の情報がない」、「どうやって勉強したらいいかわからない」が続きます。

(6)-3 現在学習していない理由：在留期間別 *複数回答可

*以下の表は見やすさを考慮し、選択肢の表現を意味内容に影響を与えない範囲で簡略化しています。
*6か月未満（2人）、6か月以上1年未満（9人）は人数が少ないため表に含めていません。

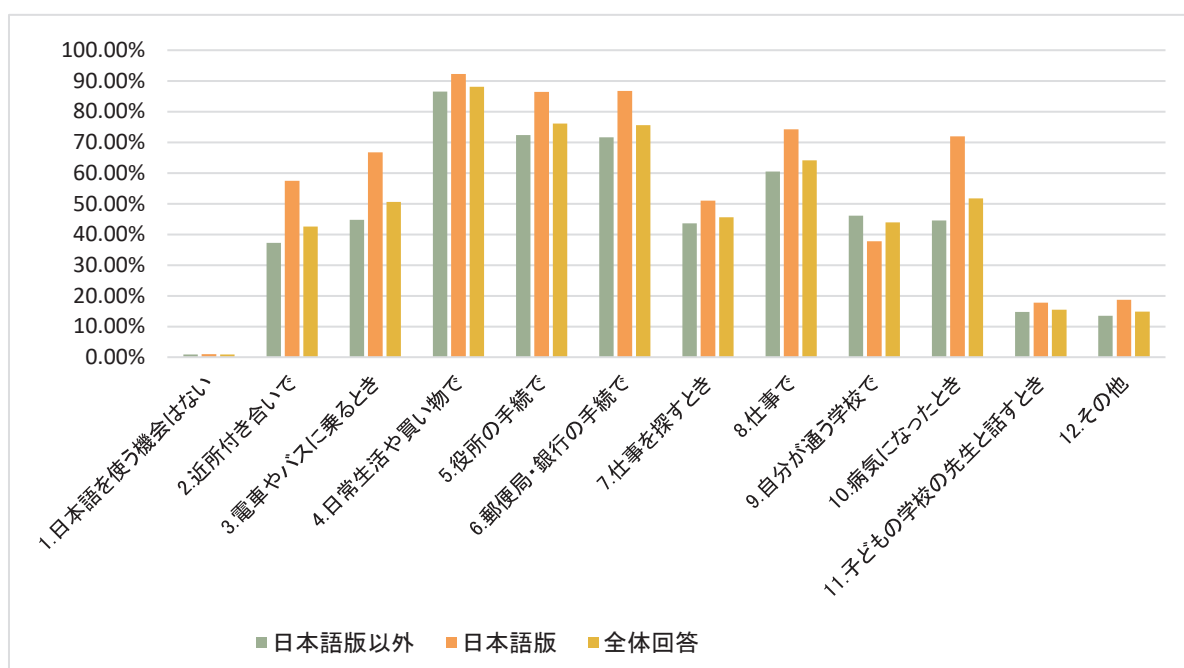
位	1年以上3年未満 (80)	3年以上5年未満 (94)	5年以上10年未満 (141)	10年以上15年未満 (96)	15年以上(135)
1	2.日本語能力十分 (48.75%)	2.日本語能力十分 (56.38%)	2.日本語能力十分 (50.35%)	2.日本語能力十分 (45.83%)	2.日本語能力十分 (42.96%)
2	7.金銭的な余裕 (31.25%)	3.仕事のため (27.66%)	3.仕事のため (39.72%)	3.仕事のため (39.58%)	1.日本語が母語 (26.67%)
3	3.仕事のため (30.00%)	8.日本語教室情報 12.勉強方法不明 (18.09%)	8.日本語教室情報 (17.73%)	8.日本語教室情報 (18.75%)	3.仕事のため (17.04%)
4	12.勉強方法不明 (20.00%)		7.金銭的な余裕 12.勉強方法不明 (14.89%)	5.育児のため 12.勉強方法不明 (13.54%)	16.その他 (9.63%)
5	8.日本語教室情報 (15.00%)	7.金銭的な余裕 9.日本語教室の 時間 (10.64%)			9.日本語教室の 時間 (8.15%)

現在日本語を学習していない理由を在留期間別に見てみると、どのグループも「日本語能力十分」を選択した人が一番多くなっています。これらのグループでは、「仕事のため」は1年以上15年未満の4つのグループで3~4割を占めています。「日本語教室情報（がない）」「勉強方法不明（どうやって勉強したらいいかわからない）」も上位にあり、仕事をしていても通える日本語教室や、日本語学習の方法に関する情報の提供が必要です。

3. 日本語の使用状況について（問7～8）

(1) 日本語を使う場面（問7） 回答者数=1,179人 *複数回答可

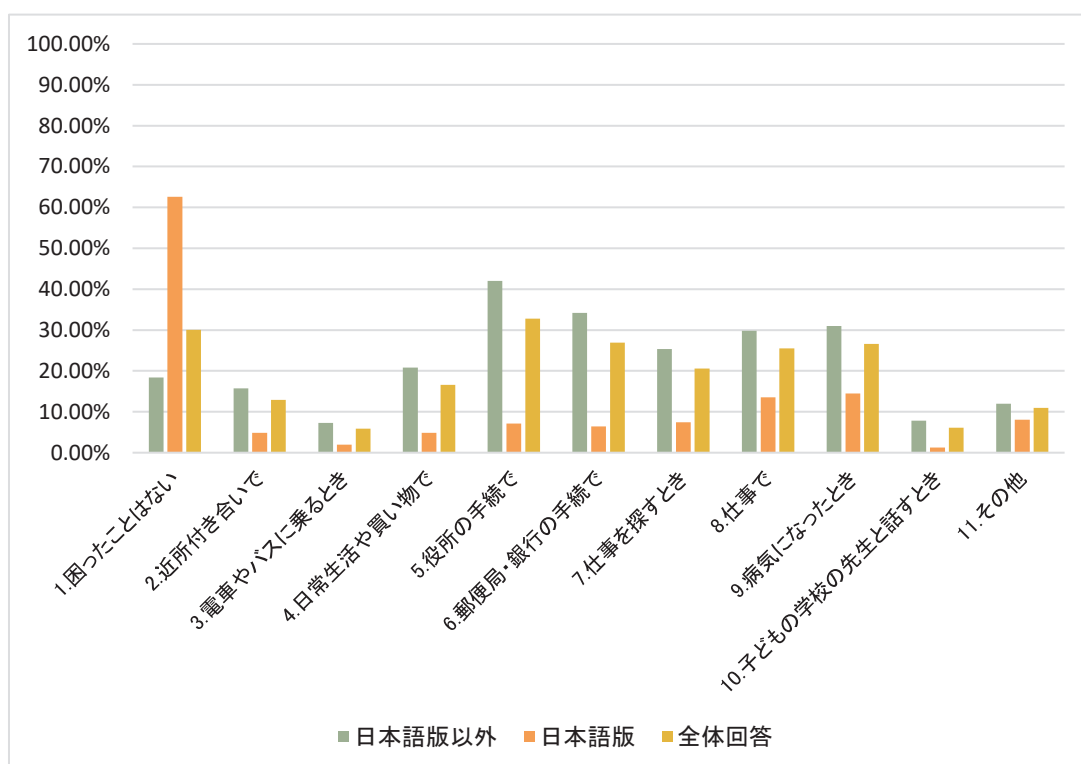
	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.日本語を使う機会はない	8(0.92%)	3(0.97%)	11(0.93%)
2.近所付き合いで	324(37.28%)	178(57.42%)	502(42.58%)
3.電車やバスに乗るとき	389(44.76%)	207(66.77%)	596(50.55%)
4.日常生活や買い物で	752(86.54%)	286(92.26%)	1,038(88.04%)
5.役所の手続で	629(72.38%)	268(86.45%)	897(76.08%)
6.郵便局・銀行の手続で	622(71.58%)	269(86.77%)	891(75.57%)
7.仕事を探すとき	379(43.61%)	158(50.97%)	537(45.55%)
8.仕事で	526(60.53%)	230(74.19%)	756(64.12%)
9.自分が通う学校で	401(46.14%)	117(37.74%)	518(43.94%)
10.病気になったとき	387(44.53%)	223(71.94%)	610(51.74%)
11.子どもの学校の先生と話すとき	128(14.73%)	55(17.74%)	183(15.52%)
12.その他	117(13.46%)	58(18.71%)	175(14.84%)



90%近くの人が「日常生活や買い物」で日本語を使っています。その他、「役所の手続」や「郵便局・銀行の手続」の割合が高く、上位を占めています。しかし、「日本語版以外」回答者はほとんどの場面について「日本語版」回答者よりも選択率が低く、「日本語版以外」を選んでいる人が日本語を使用する場面は「日本語版」回答者よりも全体的に狭いことがわかります。特に、「病気になったとき」は、「日本語版」回答者は7割以上が使用していると答えていますが、「日本語版以外」回答者では、5割未満と差が大きくなっています。

(2) 最近1年間で日本語が不自由なために困った経験(問8) 回答者数=1,179人 *複数回答可

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.困ったことはない	160(18.41%)	194(62.58%)	354(30.03%)
2.近所付き合いで	137(15.77%)	15(4.84%)	152(12.89%)
3.電車やバスに乗るとき	63(7.25%)	6(1.94%)	69(5.85%)
4.日常生活や買い物で	181(20.83%)	15(4.84%)	196(16.62%)
5.役所の手続きで	365(42.00%)	22(7.10%)	387(32.82%)
6.郵便局・銀行の手続きで	297(34.18%)	20(6.45%)	317(26.89%)
7.仕事を探するとき	220(25.32%)	23(7.42%)	243(20.61%)
8.仕事で	259(29.80%)	42(13.55%)	301(25.53%)
9.病気になったとき	269(30.96%)	45(14.52%)	314(26.63%)
10.子どもの学校の先生と話すとき	68(7.83%)	4(1.29%)	72(6.11%)
11.その他	104(11.97%)	25(8.06%)	129(10.94%)



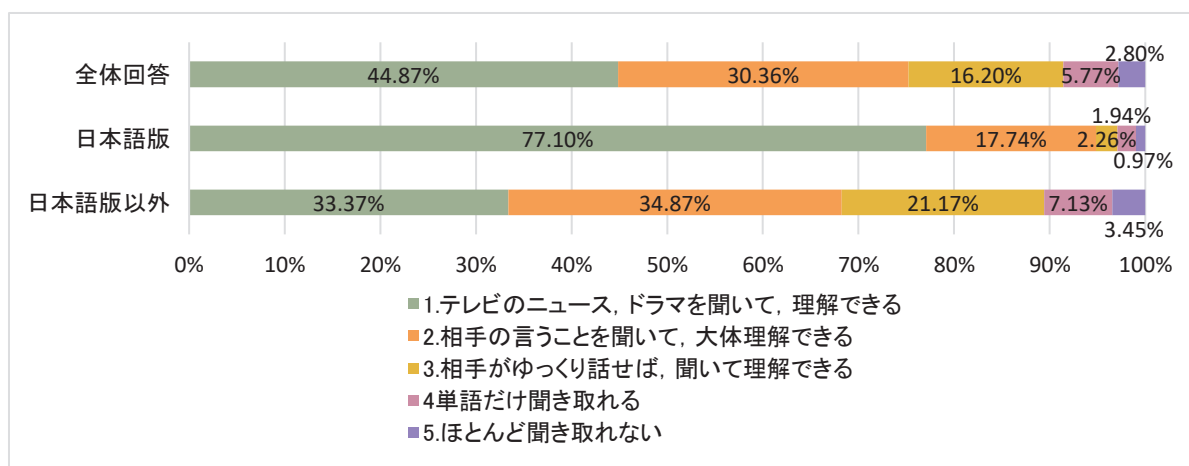
「日本語版以外」の回答者の80%以上が困ったことがあると答えており、日本語学習の必要性が明らかとなりました。特に日本語使用が多い場面として挙げられた「役所の手続き」や「郵便局・銀行の手続き」で困る人が多いことがわかります。また、病気になったときや仕事の関係で困る人も多いことが示されました。

4. 日本語能力について（問9～問13）

日本語能力について、技能別（聞く、話す、読む、書く）の自己評価と場面別（A 病気のとき、病院で、B 買い物をするとき、C 近所づきあいで、D 役所の手続で）の自己評価をしてもらいました。

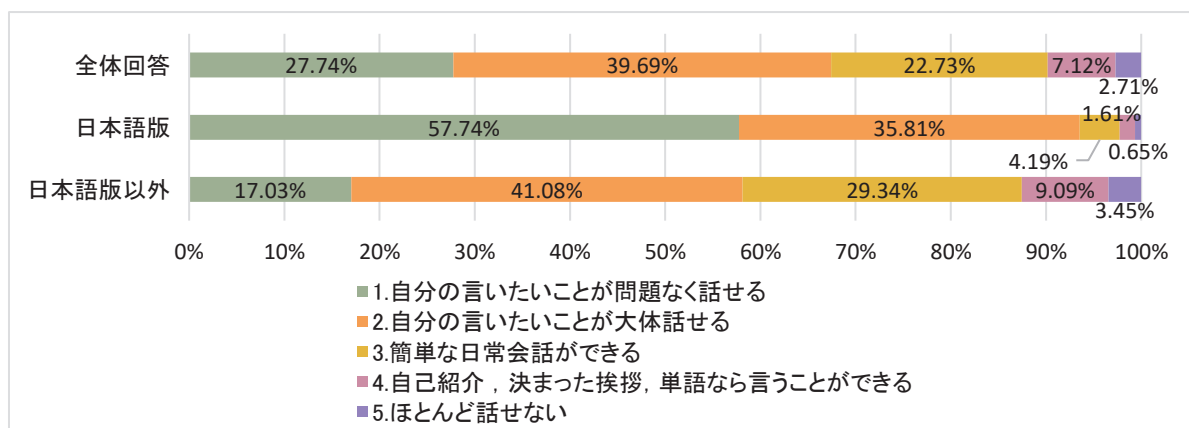
(1) 日本語能力の自己評価[聞く](問9) 回答者数=1,179人

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる	290(33.37%)	239(77.10%)	529(44.87%)
2.相手の言うことを聞いて、大体理解できる	303(34.87%)	55(17.74%)	358(30.36%)
3.相手がゆっくり話せば、聞いて理解できる	184(21.17%)	7(2.26%)	191(16.20%)
4.単語だけ聞き取れる	62(7.13%)	6(1.94%)	68(5.77%)
5.ほとんど聞き取れない	30(3.45%)	3(0.97%)	33(2.80%)



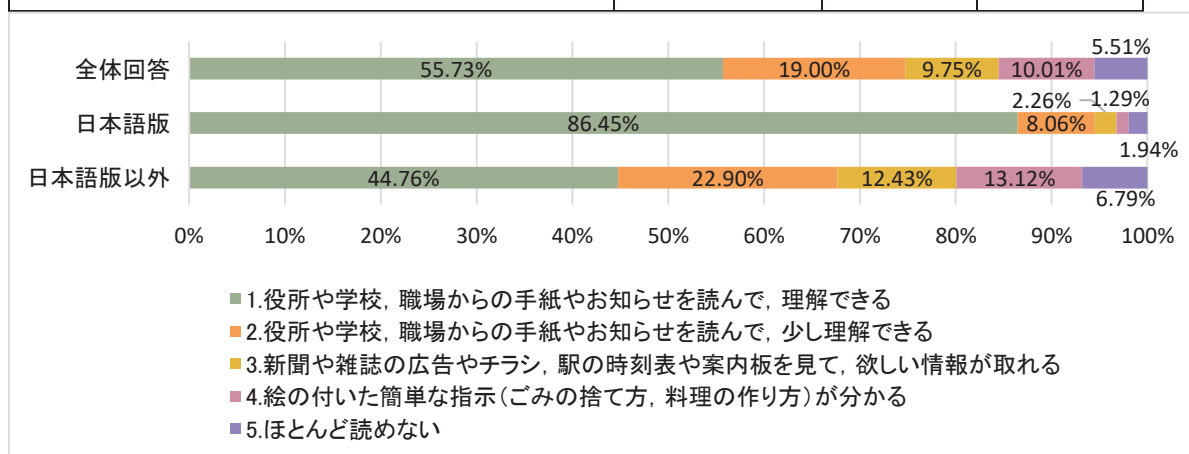
(2) 日本語能力の自己評価[話す](問10) 回答者数=1,179人

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.自分の言いたいことが問題なく話せる	148(17.03%)	179 (57.74%)	327(27.74%)
2.自分の言いたいことが大体話せる	357(41.08%)	111 (35.81%)	468(39.69%)
3.簡単な日常会話ができる	255(29.34%)	13 (4.19%)	268(22.73%)
4.自己紹介，決まった挨拶，単語なら言うことができる	79(9.09%)	5(1.61%)	84(7.12%)
5.ほとんど話せない	30(3.45%)	2 (0.65%)	32(2.71%)



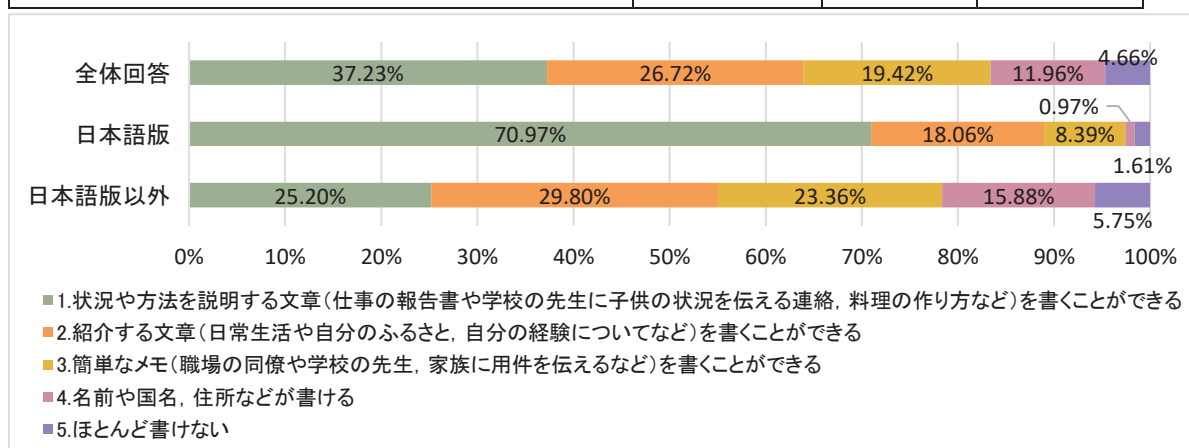
(3) 日本語能力の自己評価[読む] (問 11) 回答者数=1,179 人

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.役所や学校, 職場からの手紙やお知らせを読んで, 理解できる	389(44.76%)	268(86.45%)	657(55.73%)
2.役所や学校, 職場からの手紙やお知らせを読んで, 少し理解できる	199(22.90%)	25(8.06%)	224(19.00%)
3.新聞や雑誌の広告やチラシ, 駅の時刻表や案内板を見て, 欲しい情報が取れる	108(12.43%)	7(2.26%)	115(9.75%)
4.絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方, 料理の作り方)が分かる	114(13.12%)	4(1.29%)	118(10.01%)
5.ほとんど読めない	59(6.79%)	6(1.94%)	65(5.51%)



(4) 日本語能力の自己評価[書く] (問 12) 回答者数=1,179 人

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.状況や方法を説明する文章(仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡, 料理の作り方など)を書くことができる	219(25.20%)	220(70.97%)	439(37.23%)
2.紹介する文章(日常生活や自分のふるさと, 自分の経験についてなど)を書くことができる	259(29.80%)	56(18.06%)	315(26.72%)
3.簡単なメモ(職場の同僚や学校の先生, 家族に用件を伝えるなど)を書くことができる	203(23.36%)	26(8.39%)	229(19.42%)
4.名前や国名, 住所などが書ける	138(15.88%)	3(0.97%)	141(11.96%)
5.ほとんど書けない	50(5.75%)	5(1.61%)	55(4.66%)



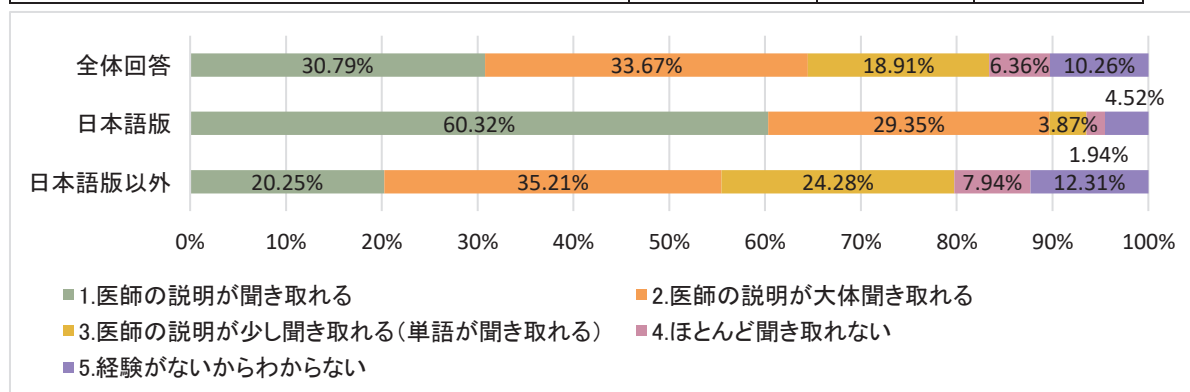
「日本語版以外」の回答者のほうが「日本語版」の回答者よりも日本語能力が低いことがわかります。「日本語版以外」の回答者は、「聞く」能力においては、「ほとんど聞き取れない」「単語だけ聞き取れる」を合わせると約11%です。「話す」能力においては、「ほとんど話せない」「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」を合わせると約13%で、「簡単な日常会話ができる」レベルも入れると、約4割です。「読む」能力においては、「ほとんど読めない」「絵の付いた簡単な指示がわかる」を合わせると約2割です。「書く」能力においては、「ほとんど書けない」「名前や国名、住所などが書ける」が合わせて約2割です。

(5) 日本語能力の自己評価：場面別（問13） 回答者数=1,179人

(5)A 病気になったとき、病院で

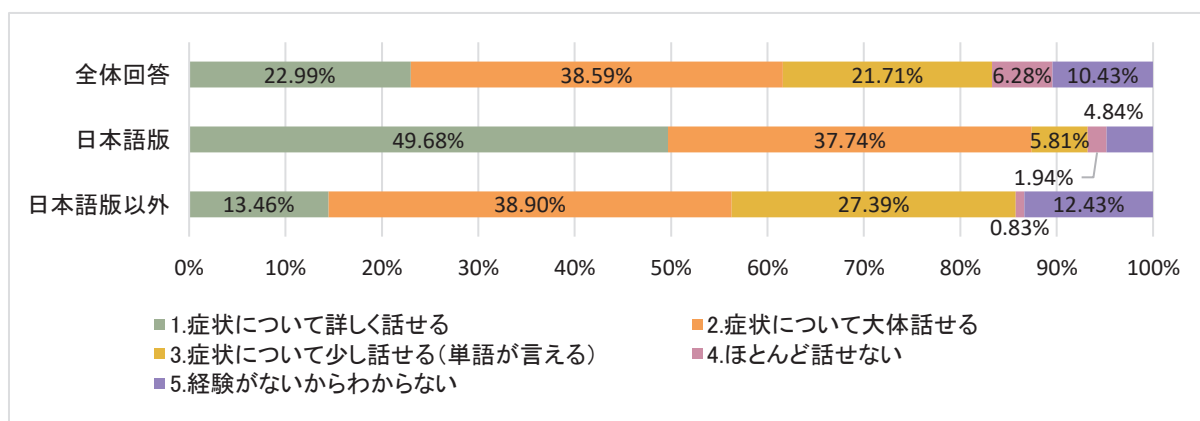
A-1 聞く

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.医師の説明が聞き取れる	176(20.25%)	187(60.32%)	363(30.79%)
2.医師の説明が大体聞き取れる	306(35.21%)	91(29.35%)	397(33.67%)
3.医師の説明が少し聞き取れる(単語が聞き取れる)	211(24.28%)	12(3.87%)	223(18.91%)
4.ほとんど聞き取れない	69(7.94%)	6(1.94%)	75(6.36%)
5.経験がないからわからない	107(12.31%)	14(4.52%)	121(10.26%)



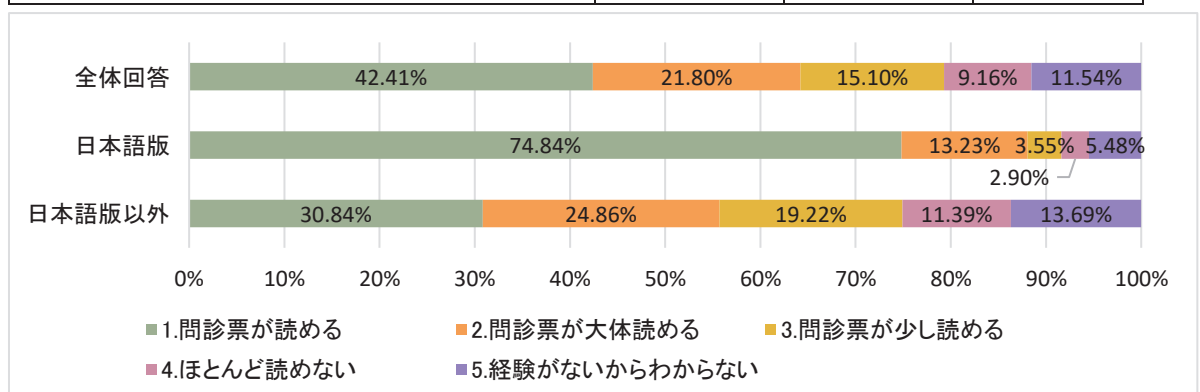
A-2 話す

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.症状について詳しく話せる	117(13.46%)	154(49.68%)	271(22.99%)
2.症状について大体話せる	338(38.90%)	117(37.74%)	455(38.59%)
3.症状について少し話せる(単語が言える)	238(27.39%)	18(5.81%)	256(21.71%)
4.ほとんど話せない	68(7.83%)	6(1.94%)	74(6.28%)
5.経験がないからわからない	108(12.43%)	15(4.84%)	123(10.43%)



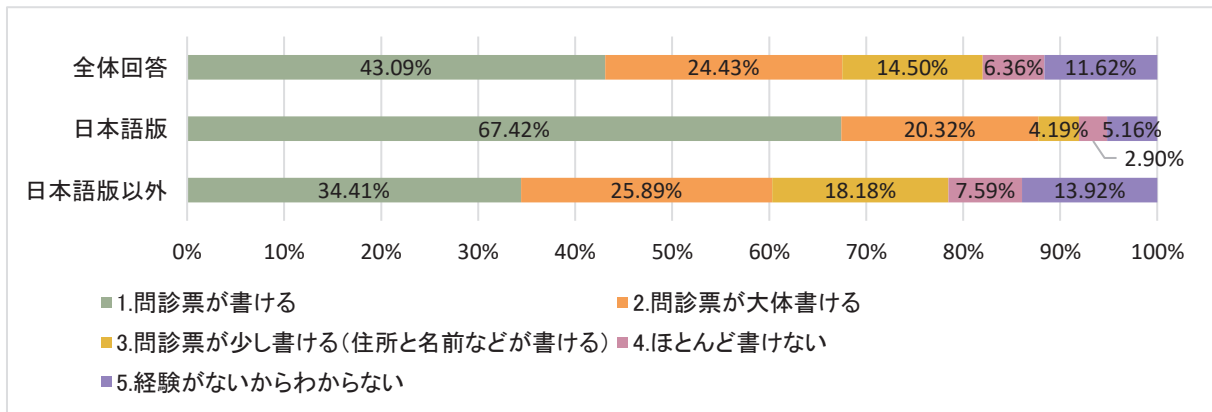
A-3 読む

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.問診票が読める	268(30.84%)	232(74.84%)	500(42.41%)
2.問診票が大体読める	216(24.86%)	41(13.23%)	257(21.80%)
3.問診票が少し読める	167(19.22%)	11(3.55%)	178(15.10%)
4.ほとんど読めない	99(11.39%)	9(2.90%)	108(9.16%)
5.経験がないからわからない	119(13.69%)	17(5.48%)	136(11.54%)



A-4 書く

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.問診票が書ける	299(34.41%)	209(67.42%)	508(43.09%)
2.問診票が大体書ける	225(25.89%)	63(20.32%)	288(24.43%)
3.問診票が少し書ける (住所と名前などが書ける)	158(18.18%)	13(4.19%)	171(14.50%)
4.ほとんど書けない	66(7.59%)	9(2.90%)	75(6.36%)
5.経験がないからわからない	121(13.92%)	16(5.16%)	137(11.62%)

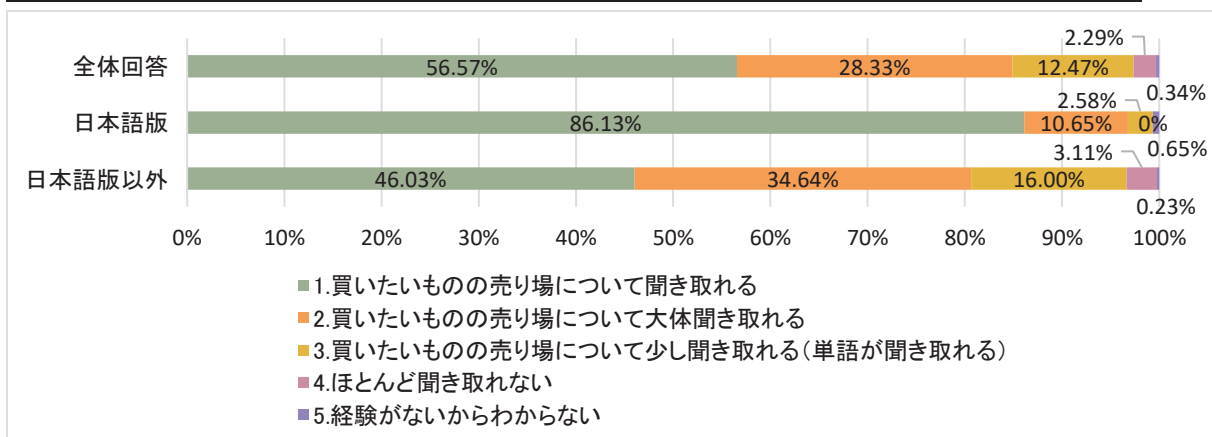


病院の場面では、「日本語版以外」の回答者のうち、「4.ほとんどできない」「3.少しできる(単語程度)」と答えた人が各技能において25～35%程度います。特に「話す」では、約35%の人が「ほとんど話せない」あるいは単語を話せる程度と答えています。病院で受診するための日本語が十分ではなく困っている人たちがいることがわかります。また、「5.経験がないからわからない」人が12～13%程度いることから、今後病院受診の際に困ることも予想されます。

(5)B 買い物をするとき

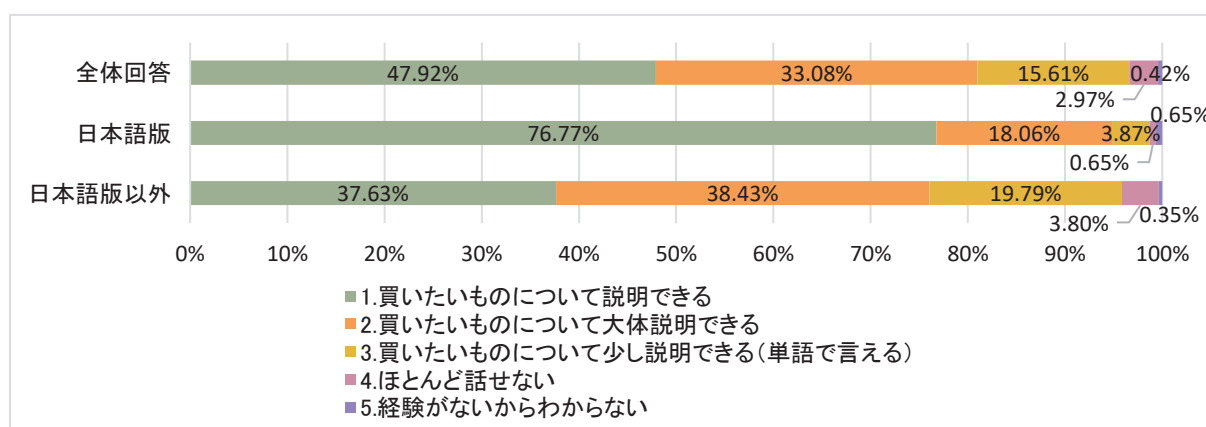
B-1 聞く

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.買いたいものの売り場について聞き取れる	400(46.03%)	267(86.13%)	667(56.57%)
2.買いたいものの売り場について大体聞き取れる	301(34.64%)	33(10.65%)	334(28.33%)
3.買いたいものの売り場について少し聞き取れる(単語が聞き取れる)	139(16.00%)	8(2.58%)	147(12.47%)
4.ほとんど聞き取れない	27(3.11%)	0(0%)	27(2.29%)
5.経験がないからわからない	2(0.23%)	2(0.65%)	4(0.34%)



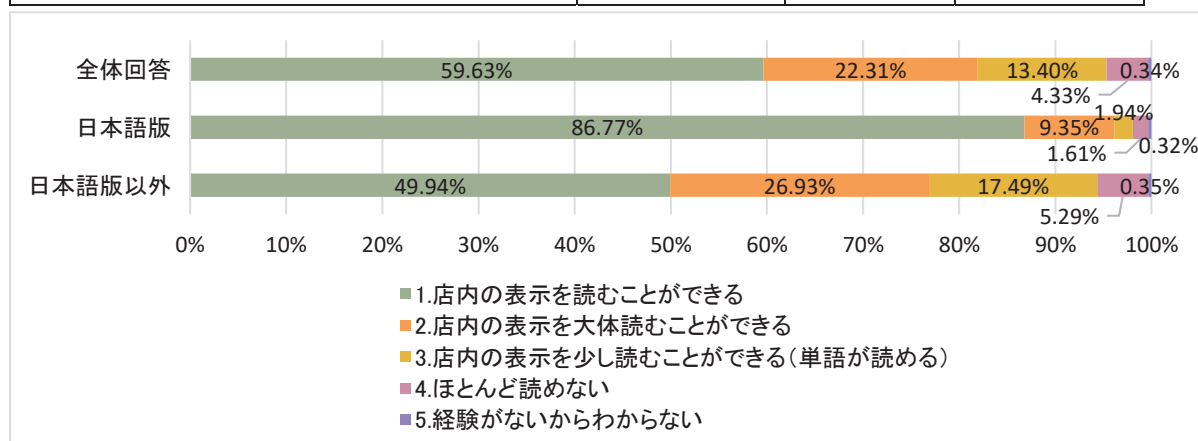
B-2 話す

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.買いたいものについて説明できる	327(37.63%)	238(76.77%)	565(47.92%)
2.買いたいものについて大体説明できる	334(38.43%)	56(18.06%)	390(33.08%)
3.買いたいものについて少し説明できる(単語で言える)	172(19.79%)	12(3.87%)	184(15.61%)
4.ほとんど話せない	33(3.80%)	2(0.65%)	35(2.97%)
5.経験がないからわからない	3(0.35%)	2(0.65%)	5(0.42%)



B-3 読む

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.店内の表示を読むことができる	434(49.94%)	269(86.77%)	703(59.63%)
2.店内の表示を大体読むことができる	234(26.93%)	29(9.35%)	263(22.31%)
3.店内の表示を少し読むことができる(単語が読める)	152(17.49%)	6(1.94%)	158(13.40%)
4.ほとんど読めない	46(5.29%)	5(1.61%)	51(4.33%)
5.経験がないからわからない	3(0.35%)	1(0.32%)	4(0.34%)

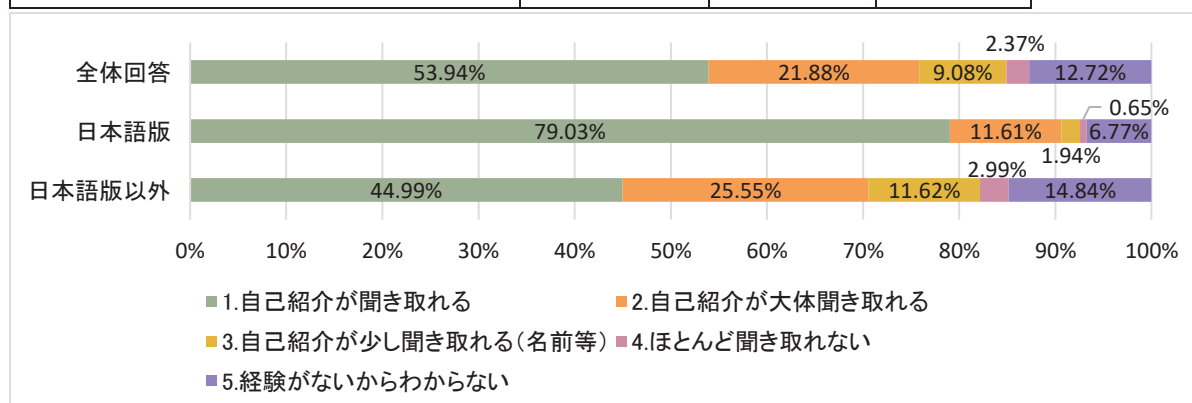


買い物場面は、「日本語版以外」の回答者でも「5. 経験がない」人がほとんどいない日常的な日本語使用場面となっています。各技能で「1. できる」「2. 大体できる」人が80%前後いて、病院の場面よりも困っている人は少ないと考えられます。しかし、「3. 少しできる(単語程度)」「4. ほとんどできない」と答えた人も、20%前後います。

(5)C 近所づきあいで

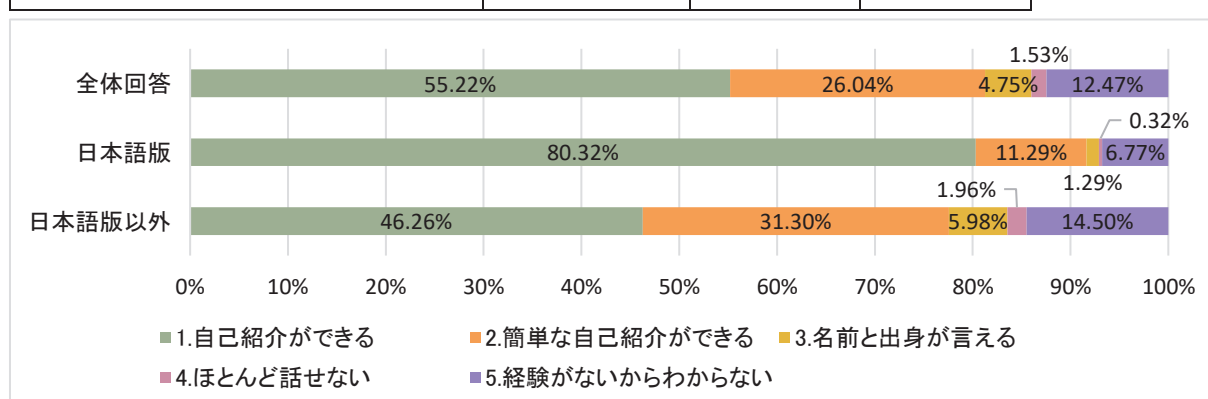
C-1 聞く

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.自己紹介が聞き取れる	391(44.99%)	245 (79.03%)	636(53.94%)
2.自己紹介が大体聞き取れる	222(25.55%)	36(11.61%)	258(21.88%)
3.自己紹介が少し聞き取れる(名前等)	101(11.62%)	6(1.94%)	107(9.08%)
4.ほとんど聞き取れない	26(2.99%)	2(0.65%)	28(2.37%)
5.経験がないからわからない	129(14.84%)	21(6.77%)	150(12.72%)



C-2 話す

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.自己紹介ができる	402(46.26%)	249(80.32%)	651(55.22%)
2.簡単な自己紹介ができる	272(31.30%)	35(11.29%)	307(26.04%)
3.名前と出身が言える	52(5.98%)	4(1.29%)	56(4.75%)
4.ほとんど話せない	17(1.96%)	1(0.32%)	18(1.53%)
5.経験がないからわからない	126(14.50%)	21(6.77%)	147(12.47%)

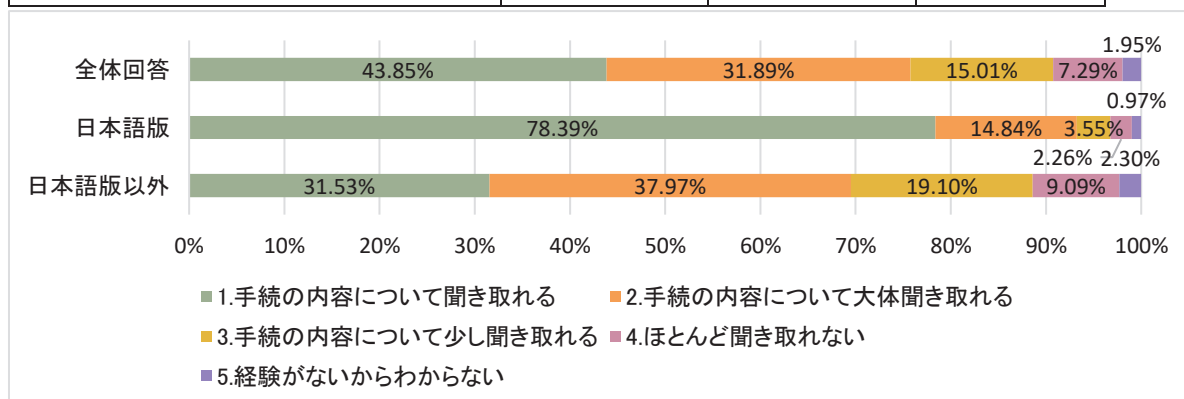


近所づきあいの場面で、「日本語版以外」の回答者のうち、「聞く」については「1.自己紹介が聞き取れる」「2. 大体聞き取れる」を合わせると約70%となり、「ほとんど聞き取れない」「少し聞き取れる(名前等)」を合わせると約15%となっています。「話す」については、「1.自己紹介ができる」、「2.簡単な自己紹介ができる」を合わせると80%近くになっており、「ほとんど話せない」「名前と出身が言える」を合わせても約8%です。しかし、「5.経験がない」人が約15%います。

(5)D 役所の手続で

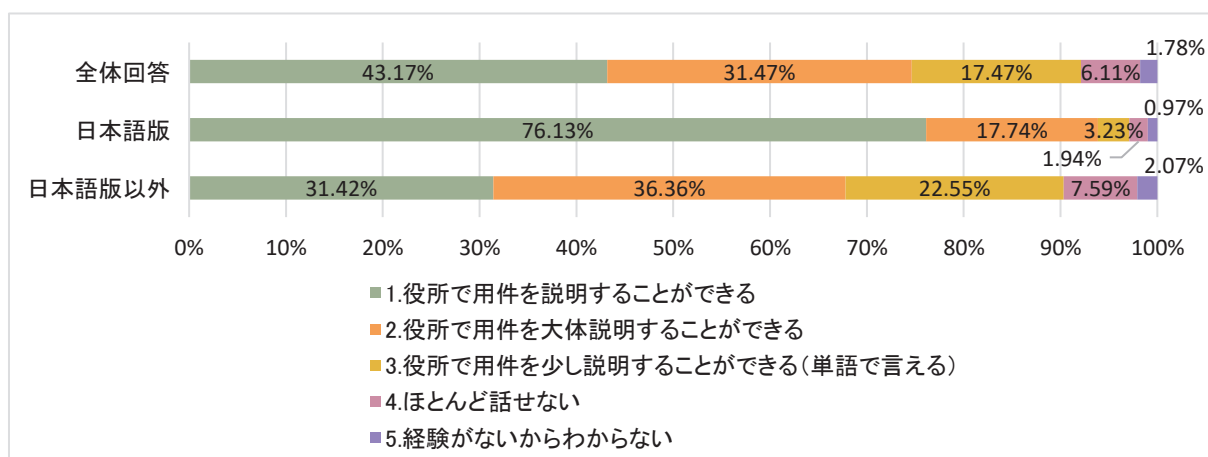
D-1 聞く

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.手続の内容について聞き取れる	274(31.53%)	243(78.39%)	517(43.85%)
2.手続の内容について大体聞き取れる	330(37.97%)	46(14.84%)	376(31.89%)
3.手続の内容について少し聞き取れる	166(19.10%)	11(3.55%)	177(15.01%)
4.ほとんど聞き取れない	79(9.09%)	7(2.26%)	86(7.29%)
5.経験がないからわからない	20(2.30%)	3(0.97%)	23(1.95%)



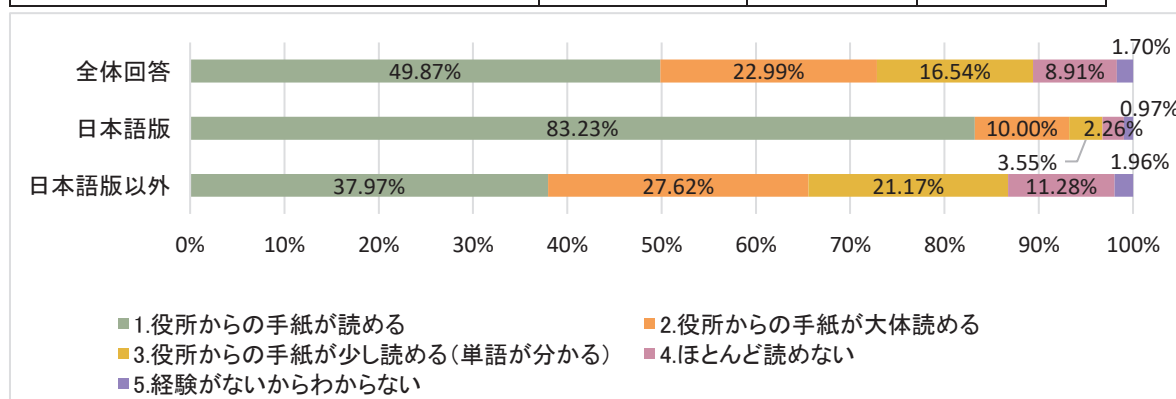
D-2 話す

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.役所で用件を説明することができる	273(31.42%)	236(76.13%)	509(43.17%)
2.役所で用件を大体説明することができる	316(36.36%)	55(17.74%)	371(31.47%)
3.役所で用件を少し説明することができる (単語で言える)	196(22.55%)	10(3.23%)	206(17.47%)
4.ほとんど話せない	66(7.59%)	6(1.94%)	72(6.11%)
5.経験がないからわからない	18(2.07%)	3(0.97%)	21(1.78%)



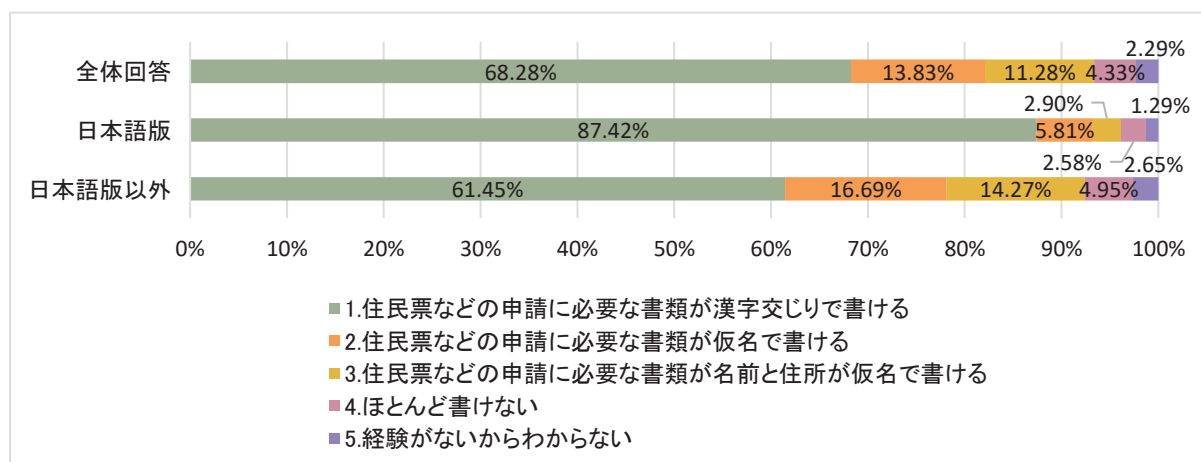
D-3 読む

	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.役所からの手紙が読める	330(37.97%)	258(83.23%)	588(49.87%)
2.役所からの手紙が大体読める	240(27.62%)	31(10.00%)	271(22.99%)
3.役所からの手紙が少し読める (単語が分かる)	184(21.17%)	11(3.55%)	195(16.54%)
4.ほとんど読めない	98(11.28%)	7(2.26%)	105(8.91%)
5.経験がないからわからない	17(1.96%)	3(0.97%)	20(1.70%)



D-4 書く

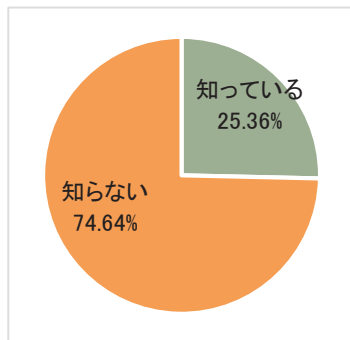
	日本語版以外	日本語版	全体回答
1.住民票などの申請に必要な書類が漢字交じりで書ける	534(61.45%)	271(87.42%)	805(68.28%)
2.住民票などの申請に必要な書類が仮名で書ける	145(16.69%)	18 (5.81%)	163(13.83%)
3.住民票などの申請に必要な書類が名前と住所が仮名で書ける	124(14.27%)	9 (2.90%)	133(11.28%)
4.ほとんど書けない	43 (4.95%)	8(2.58%)	51(4.33%)
5.経験がないからわからない	23(2.65%)	4(1.29%)	27(2.29%)



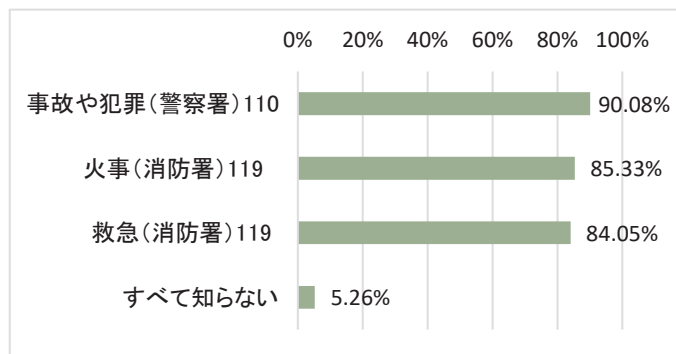
役所の手続場面は、「日本語版以外」の回答者でも「5. 経験がない」人は2%前後と少なく、多くの人が経験する日本語使用場面です。「日本語版以外」の回答者の各能力については、「3. 少しできる」「4. ほとんどできない」が20~30%前後となっており、困難を感じている人が少ないことが分かります。

5. 豊島区での生活について（問 14～27）*特に表示がないものは、回答者数=1,179 人

(1) 暴力・犯罪・いじめなどの
相談先を知っているか（問 14）

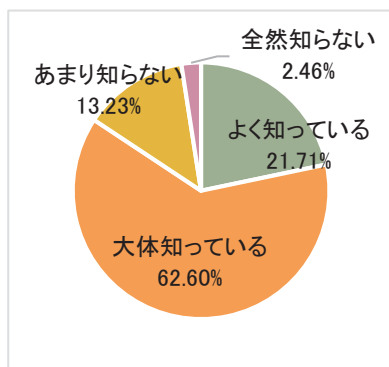


(2) 緊急通報用の電話番号で知っているもの（問 15）
*複数回答可



暴力・犯罪・いじめなどの相談先を「知っている」と回答した方は約 25%にとどまりました。一方で、緊急通報用の電話番号の 110（事故や犯罪）は約 90%，火事の 119 は約 85%，救急の 119 は約 84%の方が知っていることが分かりました。

(3) 災害時にとるべき行動（問 16）



(4) 大災害時の避難場所を知っているか（問 17）

	日本語版以外	日本語版	全体回答
知っている	446(51.32%)	205(66.13%)	651(55.22%)
知らない	423(48.68%)	105(33.87%)	528(44.78%)

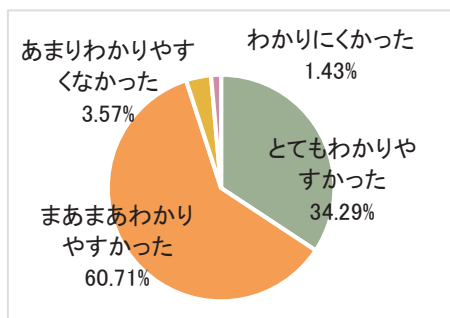
災害時にとるべき行動は「よく知っている」と「大体知っている」を合わせると 8 割を超えています。一方、避難場所を「知っている」割合は全体で約 55%であり、中でも日本語版以外の回答者の「知らない」割合が高くなっています。

(5) 豊島区ホームページ「外国人のための生活インフォメーション」の利用の有無（問 18）

	回答数(%)
利用したことがある	140(11.87%)
利用したことがない	1039(88.13%)

(6) (5)で「利用したことがある」を選択した人への質問（問 19） 回答者数=140

(6)-1 わかりやすいかどうか



「外国人のための生活インフォメーション」を「利用したことがある」と答えた方は約 12%と利用率がとても低いことがわかりました。一方で、利用したことがある方に「わかりやすいかどうか」を尋ねたところ、「とてもわかりやすかった」と「まあまあわかりやすかった」を合わせ 95%の方がわかりやすいと感じています。

(6)-2 利用した情報は何か 回答者数=140

*複数回答可

位	情報	回答数(%)
1	住所・戸籍・税の手続き	96(68.57%)
2	健康・公的保険	72(51.43%)
3	暮らし	71(50.71%)
4	外国語対応情報	60(42.86%)
5	緊急・災害	52(37.14%)
6	文化・イベント・コミュニティ	49(35.00%)
7	子育て	19(13.57%)
8	その他	12(8.57%)

「外国人のための生活インフォメーション」を利用したことがある方が利用した情報は、「住所・戸籍・税の手続き」や「健康・公的保険」など行政手続きに関する項目が上位を占めています。

また、「外国語対応情報」も42.86%となっており、区政情報や窓口の多言語化の必要性を示しています。

(7) 利用したことがない理由は何か(問20) 回答者数=1,039 *複数回答可

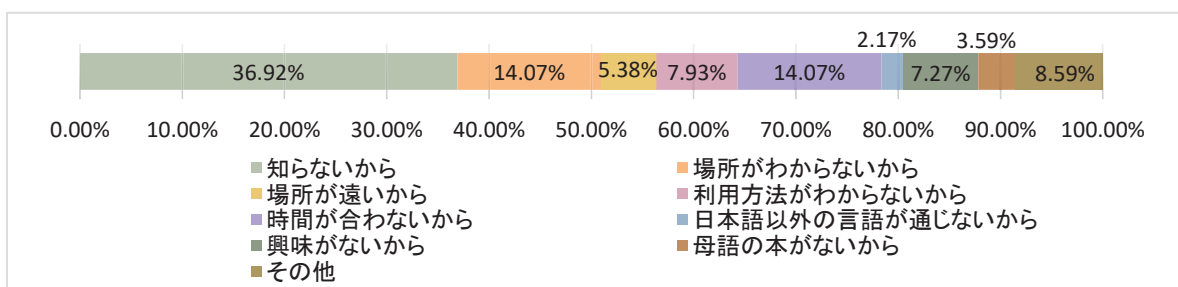
位	理由	回答数(%)
1	知らないから	731(70.36%)
2	知っているが、これまで利用する必要性を感じなかったから	204(19.63%)
3	利用方法がわからないから	48(4.62%)
4	興味がないから	34(3.27%)
5	その他	31(2.98%)
6	自分が欲しい情報がないから	25(2.41%)
7	利用する時間がないから	22(2.12%)
8	理解できる言語がないから	19(1.83%)
9	利用するための機器(パソコン, スマホ等)やネット環境がないから	2(0.19%)

利用したことがない理由は、「知らないから」が70%を超えており、周知が行き届いていないことが分かりました。

(8) 豊島区図書館の利用の有無(問21)

	回答数(%)
利用したことがある	295(25.02%)
利用したことがない	884(74.98%)

(9) 図書館を利用したことがない理由(問22) 回答者数=884 *複数回答可

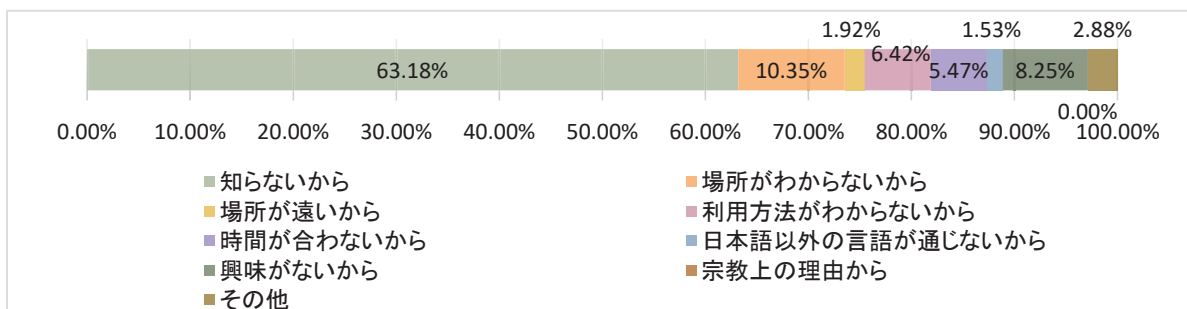


図書館を「利用したことがない」と回答した方は約75%で、理由は「知らないから」と「場所がわからないから」を合わせると約50%でした。

(10) 豊島区区民ひろばの利用の有無

	回答数(%)
利用したことがある	217(18.41%)
利用したことがない	962(81.59%)

(11) 豊島区区民ひろばを利用したことがない理由 回答者数=962 *複数回答可

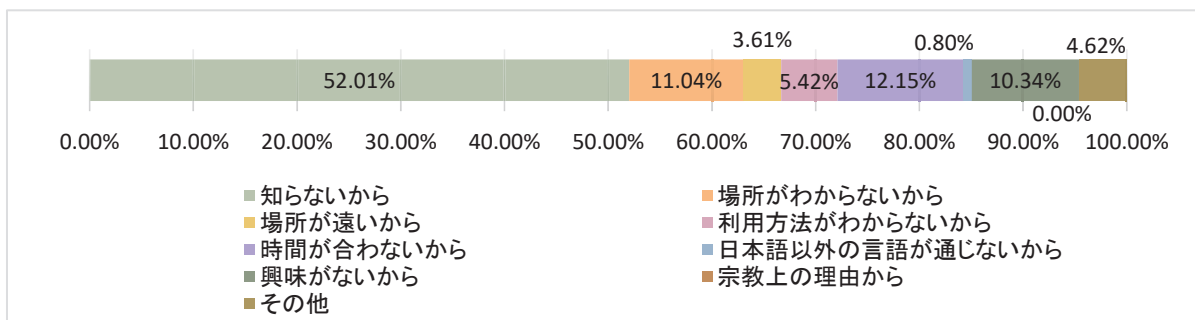


区民ひろばを「利用したことがない」と回答した方は80%を超えており、理由は「知らないから」と「場所がわからないから」を合わせると約73%でした。

(12) 豊島区運動施設の利用の有無

	回答数
利用したことがある	272(23.07%)
利用したことがない	907(76.93%)

(13) 豊島区運動施設を利用したことがない理由 回答者数=907 *複数回答可



運動施設を「利用したことがない」と回答した方は約77%で、理由は「知らないから」と「場所がわからないから」を合わせると約63%でした。

(14) 豊島区の多文化共生のあり方についての重点項目（問 27） *3 つまで選択可

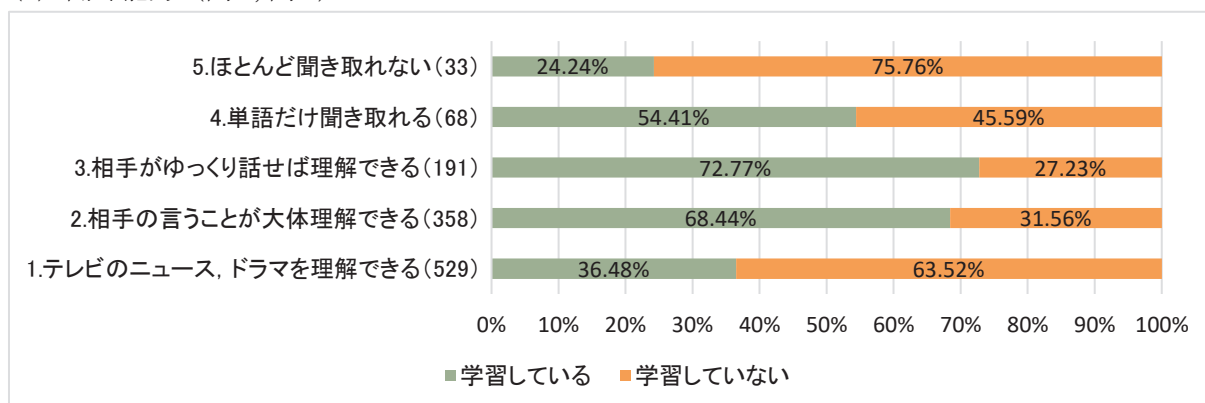
位	項 目	回答数(選択率)
1	外国人と日本人が交流する機会(イベント等)を作ること	451(38.25%)
2	外国人の生活や就労のための相談窓口を設置すること	400(33.93%)
3	日本で生活するために必要な日本の制度やルールを学ぶ機会を提供すること	316(26.80%)
4	外国人の地域活動への参加を促すこと	300(25.45%)
5	生活情報の提供手段を多様化すること(SNS や ICT の活用)	284(24.09%)
6	交流しながらお互いの言語を学習する機会を作ること	277(23.49%)
7	生活リズムの違いを考慮した、日本語学習の機会を増やすこと	240(20.36%)
8	生活情報を、英語・中国語・韓国語以外の言語でも提供すること	232(19.68%)
9	外国人コミュニティへの支援をすること	203(17.22%)
10	日本人が多様な外国語や外国文化を学ぶ機会を設けること	185(15.69%)
11	日本語教室を通いやすい場所に設けること	184(15.61%)
12	外国人の母語や母文化を伝える機会(学校の授業, シンポジウム, 冊子等)を作ること	73(6.19%)

外国人と日本人の交流やお互いの言語の学習, 日本の制度やルールを学ぶ機会の提供など相互のコミュニケーションの強化や理解の向上を期待する回答が多くなっています。また, 生活や就労のための相談窓口の設置を選択した方が多かったのはコロナによる影響も考えられます。

6. 日本語学習状況と日本語能力の関係

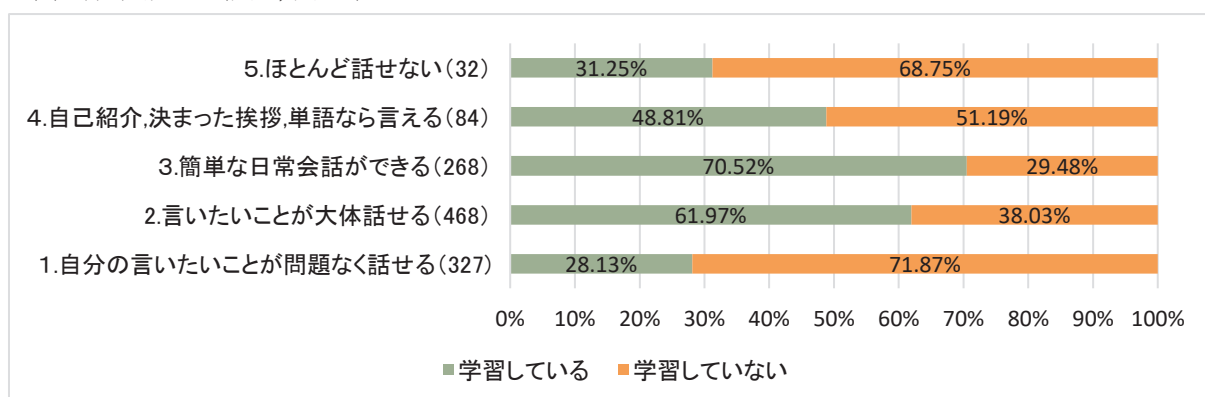
調査時に、日本語を学習している人は 622 人、学習していない人は 557 人でした。日本語能力が十分でない人がはたして日本語を学んでいるのかを知るために、現在の日本語学習の状況と日本語能力の関係を、技能（聞く、話す、読む、書く）ごとに分析しました。いずれの技能についても、1（高）から 5（低）までの 5 段階の選択肢があり、自己評価をしたものです。尚、以下では、グラフの見やすさを考慮し、選択肢の表現を意味内容に影響を与えない範囲で簡略化しています。

(1) 聞く能力（問 2, 問 9）



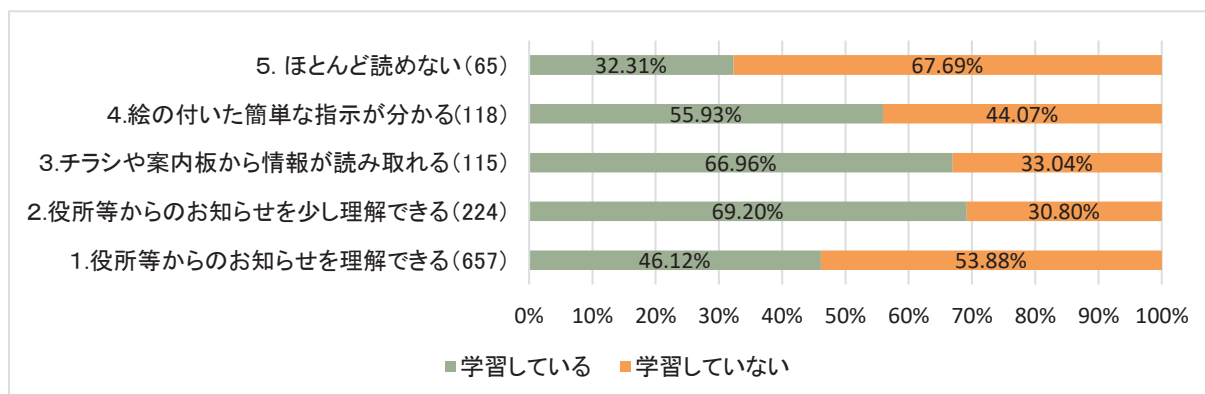
5つのレベルのうちの「2」と「3」の回答者では、「学習している」が多数を占めています。ある程度、聞く力を持っている人のほうがそうでない人たちよりも学習する傾向が高いことがわかります。それに対して、「4. 単語だけ聞き取れる（68人）」人の半数近くは学習中ではなく、「5. ほとんど聞き取れない（33人）」人については、約76%が学習していません。

(2) 話す能力（問 2, 問 10）



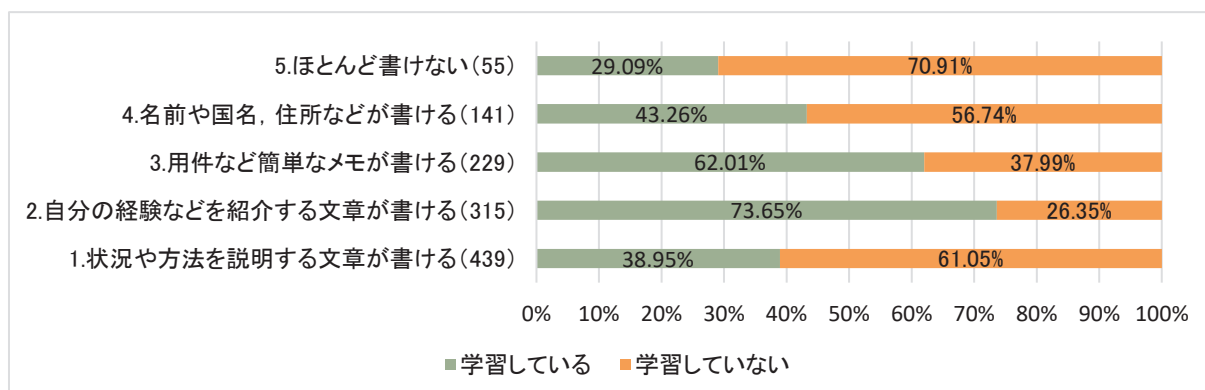
「話す能力」についても、「聞く能力」と似た傾向が見られます。「4. 自己紹介, 決まった挨拶, 単語なら言うことができる（84人）」というレベルであっても、学習していない人が過半数となっています。さらに、「5. ほとんど話せない（32人）」を選んだ人で学習している人は3割にとどまっています。

(3) 読む能力 (問 2, 問 11)



「読む能力」では他の能力に比べて、最も多くの人（65人）が5段階のうちの最も低い「5」のレベルを選んでいきます。つまり、他の技能に比べて、できないと答えている人が多いということです。しかし、やはり学習していない人の割合は高く、学習している人の2倍以上となっています。

(4) 書く能力 (問 2, 問 12)



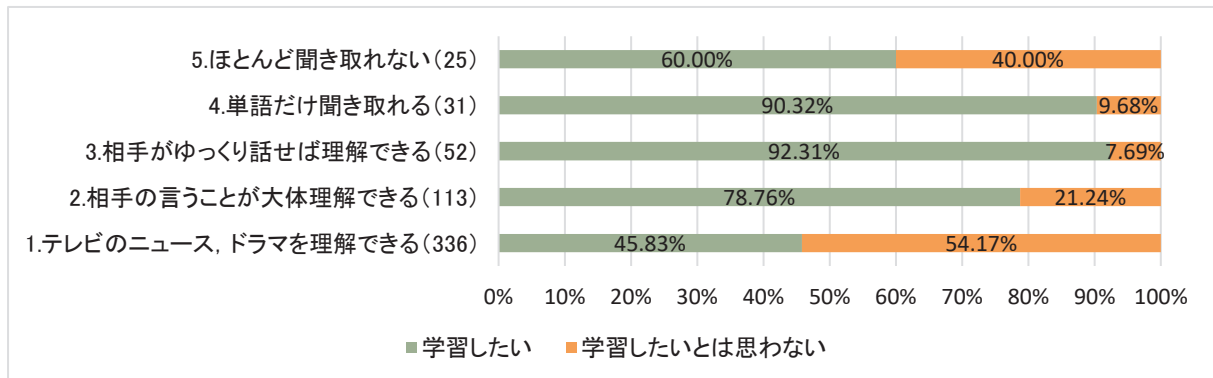
「書く能力」は他の能力に比べ、「4」（141人）か「5」（55人）を選んだ人の合計が最も多く、全体的に他の技能よりも自己評価が低めです。しかし、名前や住所などが書けるといった、ごく限られた能力しか持っていないけれども、日本語を学習中ではない、という人のほうが多いということがわかります。

いずれの技能においても、5段階のうちの「1」、つまり、かなり高い能力を持つ人は現在、日本語を「学習していない」人のほうが多く、「5」のほとんどできないレベルの場合も、「学習していない」人のほうが多いことがわかりました。日本で生活するうえで必要と思われる日本語能力を持っていないけれども、日本語を学習中ではない、という人がいます。日本語を勉強していない理由については「2. (6)」で示しましたが、「日本語が第一言語だ」「十分な日本語能力を身につけた」を選ばなかった250人についても、やはり「仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がない」（131人）、「日本語教室の情報がない」（74人）、「どうやって勉強したらいいかわからない」（67人）を選ぶ傾向が高かったです。

7. 日本語学習希望と日本語能力の関係

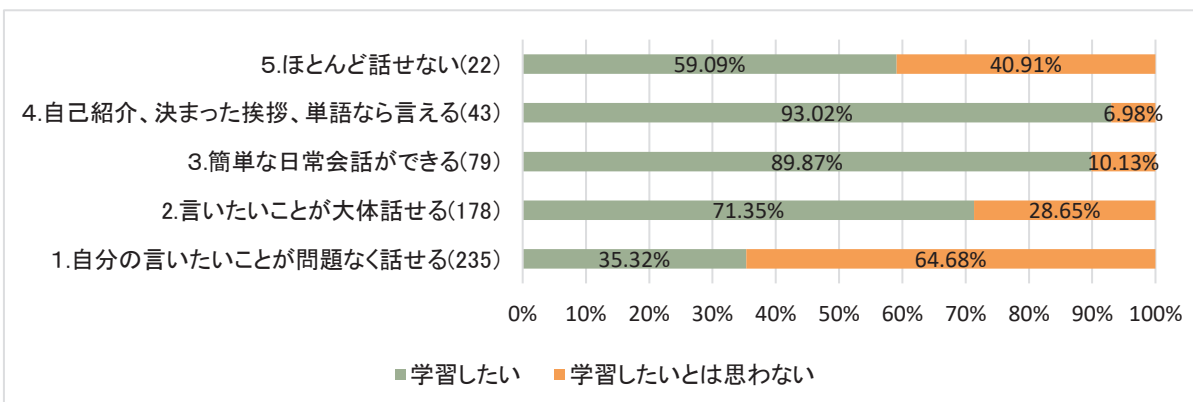
日本語を学んでいない人（557人）のうち、日本語を学習したいと思っている人は334人（59.96%）、学習したいとは思わない人は223人（40.04%）でした。ここでは、日本語能力によって希望の有無が異なるのかどうか、技能別に分析した結果を紹介します。

(1) 聞く能力（問5, 問9）



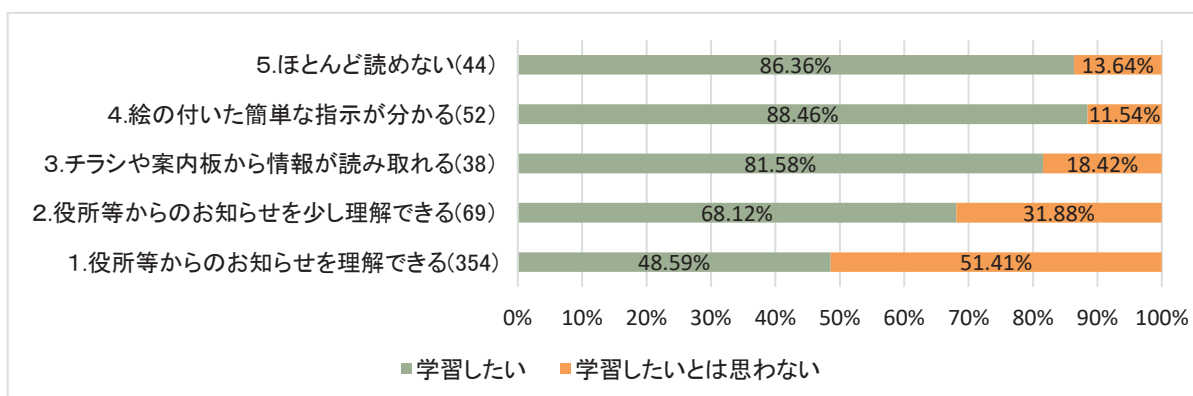
「3」「4」を選んでいる人、つまり、聞く能力が限定的な人のほとんどは、日本語を学習したいと考えていることがわかります。その一方で、「5. ほとんど聞き取れない」人の中には、日本語を学習したいとは思わない人が少なからずいることもわかりました。

(2) 話す能力（問5, 問10）



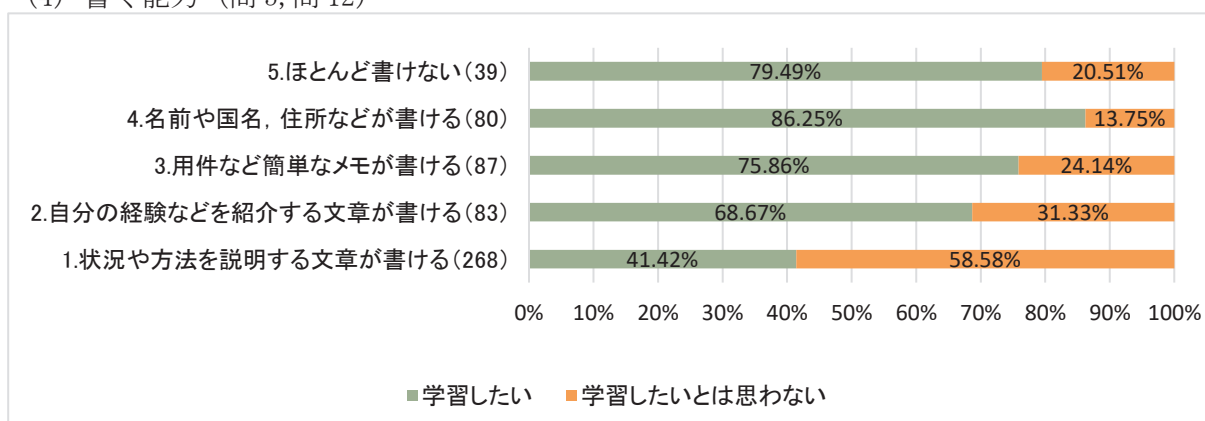
「聞く能力」とほぼ同じ傾向であり、「5. ほとんど話せない」状態でも、学習したいとは思わない人がいます。そして、「3」「4」のような、限られたことしか話せない状況の人の9割前後は、日本語を学習したいと考えています。

(3) 読む能力 (問 5, 問 11)



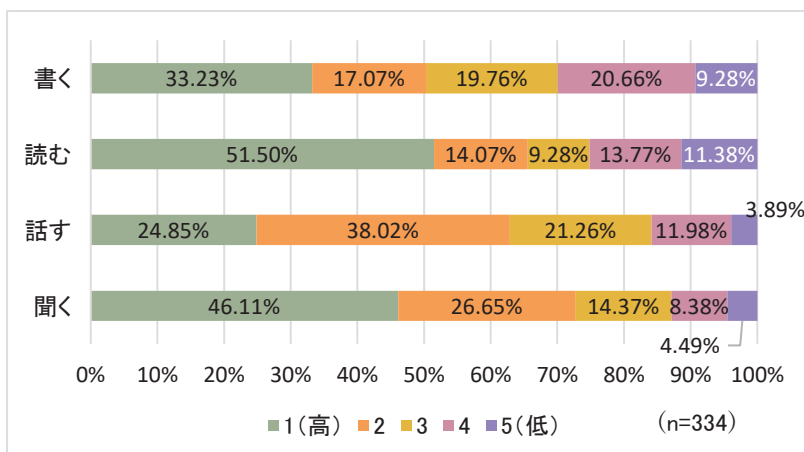
「読む能力」は、先述の通り、「5」を選んでいる人が他の能力よりも多いのですが、同時に、「学習したい」と答えた人の割合が高くなっています。聞いたり話したり、といった口頭能力はある程度は持っているけれど、読む能力が低い場合に、日本語を学習したいと考える傾向がある可能性があります。

(4) 書く能力 (問 5, 問 12)



「書く能力」は、「読む能力」と似た傾向でした。読む能力や書く能力は、生活の中で自然には身につかないもののため、能力が低い状態のままの人が少なくなく、何らかの方法で学習する必要があると考えている可能性があります。

(5) 「学習したい」人の技能別・レベル別の内訳 (問 5, 問 9~12)



このグラフは、日本語学習を希望している334人の現在の日本語能力(自己評価)を、技能別にまとめたものです。5段階のレベルは技能間で多少の違いがあるため、注意が必要ですが、日本語教室の内容を検討する際の参考資料となります。

資 料

資料 1. 依頼状

資料 2. アンケート(質問紙) *ウェブアンケート

上記の資料 1, 2 に関しては, 以下の 7 言語・9 種類で実施した。
日本語, やさしい日本語, 英語, 韓国語, 中国語 (簡体字, 繁体字),
ベトナム語, ネパール語, ミャンマー語

豊島区にお住まいの皆様へ

「豊島区における日本語学習環境と情報交流に関する実態調査」アンケートへのご協力をお願い

区民の皆様には、日ごろから豊島区の事業にご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。

このたび、豊島区と学習院大学は、よりよい日本語学習環境を作るために、区内在住の外国人の方を対象に、アンケート調査を実施することにしました。皆様の日本語使用や日本語学習の現状、多文化共生社会を実現するためのお考えなどを知り、区として取り組むべき課題を明らかにします。調査結果をもとに、課題解決のための方法を探り、今後の日本語学習環境の整備に向けた方策に生かす計画です。

この依頼文は、住民基本台帳をもとに、区内にお住いの18歳以上の外国籍の方、日本国籍をお持ちでない方の中から無作為に抽出した方々にお送りしています。本アンケートにご回答いただいた内容はすべて個人が特定されない形で集計分析作業を行い、統計的な処理を行った上で、結果を報告書としてまとめます。また、ご回答をこの調査の目的以外に使うことはありません。調査結果の速報版(概要)は、豊島区外国人のための生活インフォメーション <https://www.city.toshima.lg.jp/info/index.html> にて、2021年3月に公開予定です。

調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

この調査について、ご質問やご意見がございましたら、下記の間い合わせ先までご連絡ください。










2020年10月12日

豊島区政策経営部企画課多文化共生推進グループ
学習院大学国際センター

<ご記入にあたってのお願い>

- アンケートは、8言語で作成されています。以下のURL または QR コードから、最も回答しやすい言語を選んでお答えください。回答には10分くらいかかります。
- アンケートの最初に入力するID番号は、封筒の宛名ラベルの右上に記載された6桁の数字です。同じ人が2回以上回答しないよう、ID番号があります。
- お一人お一人の実際の状況を知るためのアンケートです。必ず、ご自身についてお答えください。
- アンケートは、**2020年11月1日**までにご回答ください。

アンケート用紙に関する問い合わせ先：豊島区・学習院日本語調査係 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院大学 国際センター
FAX:03-5992-1025 Email nnet.toshima.jimu@gmail.com

<p>日本語</p> <p>https://forms.gle/mHAeMeLo4VY2xqu89</p> 	<p>やさしい日本語 <small>にほんご</small></p> <p>https://forms.gle/dCiqAFygV5FszzQr7</p> 	<p>中文(简体字)</p> <p>https://forms.gle/7qyJXAt7CorjkkUR9</p> 	<p>中文(繁體字版)</p> <p>https://forms.gle/BksccpdgiSzFRH3B9</p> 	<p>ベトナム語 Tiếng Việt</p> <p>https://forms.gle/epgV486VWKokVKFL6</p> 
<p>한국어</p> <p>https://forms.gle/iNTVN1sC2TAz8RL59</p> 	<p>English</p> <p>https://forms.gle/576JwzHaigWeNibu6</p> 	<p>नेपाली भाषा नेपाली भाषा</p> <p>https://forms.gle/xeZRUEsSXAYqnsWL9</p> 	<p>ミャンマー語 မြန်မာဘာသာ</p> <p>https://forms.gle/mr2WondUorg8GVHW7</p> 	

「豊島区における日本語学習環境と情報交流に関する実態調査」 アンケート

ID 番号 _____

[1] あなたについて

F1 あなたの性別は次のどれですか。

1. 男 2. 女 3. 回答しない 4. その他

F2 あなたの年齢は次のどれですか。

1. ～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳～

F3 あなたの出身は次のどれですか。

1. 中国 2. 韓国・朝鮮 3. フィリピン 4. ブラジル 5. ベトナム
6. 米国 7. ペルー 8. タイ 9. ネパール 10. 台湾
11. ミャンマー 12. フランス 13. その他 ()

F4 あなたの在留資格は次のどれですか。

1. 特別永住者 2. 永住者 3. 留学
4. 技能実習 5. 定住者 6. 日本人の配偶者等
7. 家族滞在 8. 技術・人文知識・国際業務 9. 経営・管理
10. 技能 11. 特定活動 12. 永住者の配偶者等
13. 高度専門職 14. 企業内転勤 15. 教授 16. 教育 17. その他

F5 あなたはどのくらい日本で生活していますか。

1. 6か月未満 2. 6か月以上～12か月未満 3. 1年以上～3年未満
4. 3年以上～5年未満 5. 5年以上～10年未満 6. 10年以上～15年未満
7. 15年以上

F6 あなたはどのくらい豊島区で生活していますか。

1. 6か月未満 2. 6か月以上～12か月未満 3. 1年以上～3年未満
4. 3年以上～5年未満 5. 5年以上～10年未満 6. 10年以上～15年未満
7. 15年以上

F7 あなたはこれから、日本でどのくらい生活する予定ですか。

1. 6か月未満 2. 6か月以上～12か月未満 3. 1年以上～3年未満
4. 3年以上～5年未満 5. 5年以上 6. 住み続ける
7. まだ決めていない

F8 仕事をしていますか。

1. している 2. していない (今, 探している) 3. していない (探していない)

F9 自分自身も含めてあなたには日本語による情報収集や発信ができる人が身近にいますか。
(複数回答可)

1. いない 2. 自分自身 3. 配偶者 4. 子ども 5. 親 6. 親戚
7. 日本人の友人 8. 日本人以外の友人 (同国人) 9. 日本人以外の友人 (同国人以外)
10. その他

F10 あなたは今後5年以内に日本に呼び寄せたい人がいますか。(複数回答可)

1. いない 2. 配偶者 3. 子ども 4. 親 5. その他

F11 あなたが読んで理解できる言語は何ですか。(複数回答可)

1. 日本語 2. 中国語 3. 韓国・朝鮮語 4. 英語 5. フィリピン語
6. ベトナム語 7. ネパール語 8. ミャンマー語 9. タイ語 10. その他

[2] 日本語学習について

問1 あなたは日本語を学んだことがありますか。

1. ある
2. ない

問2 あなたは、今、日本語を学んでいますか。

1. 学んでいる (→問3, 4, 7, 8へ)
2. 学んでいない (→問5, 6, 7, 8へ)

問3 あなたは今、どうやって日本語を学んでいますか。(複数回答可)

1. 独学で (教科書やテレビ等)
2. 独学で (インターネットやアプリ等)
3. 通信教育で学んでいる
4. 無料の日本語教室で学んでいる
5. 有料の日本語教室で学んでいる
6. 日本語学校で学んでいる
7. 家族から学んでいる
8. 職場で学んでいる
9. 友達 (日本人) から学んでいる
10. 友達 (日本人以外) から学んでいる
11. 周りの会話を聞いて覚えている
12. その他

問4 あなたは何のために日本語を学んでいますか。(複数回答可)

1. 日本で生活していくために必要だから
2. 日本人との付き合いを広げるため
3. 仕事で必要だから
4. より良い条件の仕事を探すため
5. 進学や勉強のため
6. その他

問5 あなたは日本語を学びたいですか。

1. 日本語を学びたい
2. 日本語を学びたいとは思わない

問6 あなたが現在学んでいないのはなぜですか (複数回答可)

1. 日本語が第一言語 (母語) だから
2. 十分な日本語能力を身につけたから
3. 日本語を使う必要がないから
4. 日本語以外の言語で十分生活ができるから
5. 育児のため, 日本語を学ぶ時間的余裕がないから
6. 仕事のため, 日本語を学ぶ時間的余裕がないから
7. 日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから
8. 日本語教室の情報がないから
9. 日本語教室の時間が合わないから
10. 日本語教室が遠くて通うことができないから
11. 日本語教室の教え方や内容, レベルが合わないから
12. どうやって勉強したらいいか分からないから
13. 日本語学習用の適切な教材がないから
14. 日本語学習に対して家族の理解が得られないから
15. 学ぶ意欲が湧かないから
16. その他

[3] 日本語の使用状況について

問7 次のようなとき、あなたは日本語を使いますか。(複数回答可)

- | | | |
|----------------|--------------------|---------------|
| 1. 日本語を使う機会はない | 2. 近所付き合いで | 3. 電車やバスに乗るとき |
| 4. 日常生活や買い物で | 5. 役所の手続で | 6. 郵便局・銀行の手続で |
| 7. 仕事を探すとき | 8. 仕事で | 9. 自分が通う学校で |
| 10. 病気になったとき | 11. 子どもの学校の先生と話すとき | 12. その他 |

問8 次のようなとき、あなたは日本語が不自由なために、困ったことがありますか。
最近1年間に困った経験があるものを選んでください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------------|------------|----------------|
| 1. 困ったことはない | 2. 近所付き合いで | 3. 電車やバスに乗るとき |
| 4. 日常生活や買い物で | 5. 役所の手続で | 6. 郵便局・銀行での手続で |
| 7. 仕事を探すとき | 8. 仕事で | 9. 病気になったとき |
| 10. 子どもの学校の先生と話すとき | | 11. その他 |

[4] 日本語能力について

問9 あなたは日本語がどのくらいできますか。[聞く]

1. テレビのニュース，ドラマを聞いて，理解できる
2. 相手の言うことを聞いて，大体理解できる
3. 相手がゆっくり話せば，聞いて理解できる
4. 単語だけ聞き取れる
5. ほとんど聞き取れない

問10 あなたは日本語がどのくらいできますか。[話す]

1. 自分の言いたいことが問題なく話せる
2. 自分の言いたいことが大体話せる
3. 簡単な日常会話ができる
4. 自己紹介，決まった挨拶，単語なら言うことができる
5. ほとんど話せない

問11 あなたは日本語がどのくらいできますか。[読む]

1. 役所や学校，職場からの手紙やお知らせを読んで，理解できる
2. 役所や学校，職場からの手紙やお知らせを読んで，少し理解できる
3. 新聞や雑誌の広告やチラシ，駅の時刻表や案内板を見て，欲しい情報が取れる
4. 絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方，料理の作り方）が分かる
5. ほとんど読めない

問12 あなたは日本語がどのくらいできますか。[書く]

1. 状況や方法を説明する文章（仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡，料理の作り方など）を書くことができる
2. 紹介する文章（日常生活や自分のふるさと，自分の経験についてなど）を書くことができる
3. 簡単なメモ（職場の同僚や学校の先生，家族に用件を伝えるなど）を書くことができる
4. 名前や国名，住所などが書ける
5. ほとんど書けない

問 13 それぞれの場面で、日本語がどれくらいできますか。

問 13-1 病気になったときに、病院で

- [聞く] 1. 医師の説明が聞き取れる
2. 医師の説明が大体聞き取れる
3. 医師の説明が少し聞き取れる (単語が聞き取れる)
4. ほとんど聞き取れない
5. 経験がないからわからない

- [話す] 1. 症状について詳しく話せる
2. 症状について大体話せる
3. 症状について少し話せる (単語が言える)
4. ほとんど話せない
5. 経験がないからわからない

- [読む] 1. 問診票が読める
2. 問診票が大体読める
3. 問診票が少し読める
4. ほとんど読めない
5. 経験がないからわからない

- [書く] 1. 問診票が書ける
2. 問診票が大体書ける
3. 問診票が少し書ける (住所と名前などが書ける)
4. ほとんど書けない
5. 経験がないからわからない

問 13-2 買い物をするとき

- [聞く] 1. 買いたいものの売り場について聞き取れる
2. 買いたいものの売り場について大体聞き取れる
3. 買いたいものの売り場について少し聞き取れる (単語が聞き取れる)
4. ほとんど聞き取れない
5. 経験がないからわからない

- [話す] 1. 買いたいものについて説明できる
2. 買いたいものについて大体説明できる
3. 買いたいものについて少し説明できる (単語で言える)
4. ほとんど話せない
5. 経験がないからわからない

- [読む] 1. 店内の表示を読むことができる
2. 店内の表示を大体読むことができる

3. 店内の表示を少し読むことができる（単語が読める）
4. ほとんど読めない
5. 経験がないからわからない

問 13-3 近所づきあいで

- [聞く] 1. 自己紹介が聞き取れる
2. 自己紹介が大体聞き取れる
 3. 自己紹介が少し聞き取れる（名前等）
 4. ほとんど聞き取れない
 5. 経験がないからわからない

- [話す] 1. 自己紹介ができる
2. 簡単な自己紹介ができる
 3. 名前と出身が言える
 4. ほとんど話せない
 5. 経験がないからわからない

問 13-4 役所の手続で

- [聞く] 1. 手続の内容について聞き取れる
2. 手続の内容について大体聞き取れる
 3. 手続の内容について少し聞き取れる
 4. ほとんど聞き取れない
 5. 経験がないからわからない

- [話す] 1. 役所で用件を説明することができる
2. 役所で用件を大体説明することができる
 3. 役所で用件を少し説明することができる（単語で言える）
 4. ほとんど話せない
 5. 経験がないからわからない

- [読む] 1. 役所からの手紙が読める
2. 役所からの手紙が大体読める
 3. 役所からの手紙が少し読める（単語が分かる）
 4. ほとんど読めない
 5. 経験がないからわからない

- [書く] 1. 住民票などの申請に必要な書類が漢字交じりで書ける
2. 住民票などの申請に必要な書類が仮名で書ける
 3. 住民票などの申請に必要な書類が名前と住所が仮名で書ける
 4. ほとんど書けない
 5. 経験がないからわからない

[5] 豊島区での生活について

問 14 あなたは暴力、犯罪、いじめなどの（公的な）相談先を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問 15 あなたは以下の緊急通報用の電話番号を知っていますか。（複数回答可）

1. 事故や犯罪（警察署） 110 2. 火事（消防署） 119
3. 救急（消防署） 119 4. すべて知らない

問 16 地震などの災害が起きた時、どんな行動をとればよいか知っていますか。

1. よく知っている 2. 大体知っている 3. あまり知らない 4. 全然知らない

問 17 大地震などの大きな災害が起きた時、避難する場所を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問 18 豊島区のホームページにある「外国人のための生活インフォメーション」を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある 2. 利用したことがない

問 19 問 18 で「①利用したことがある」と答えた方にお聞きします。

問 19-1 わかりやすかったですか。

1. とてもわかりやすかった
2. まあまあわかりやすかった
3. あまりわかりやすくなかった
4. わかりにくかった

問 19-2 どの情報を利用したことがありますか。（複数回答可）

1. 緊急・災害 2. 外国語対応情報 3. 住所・戸籍・税の手続き
4. 暮らし 5. 子育て 6. 健康・公的保険
7. 文化・イベント・コミュニティ 8. その他

問 20 問 18 で「②利用したことがない」と答えた方にお聞きします。
利用したことがない理由は何ですか。（複数回答可）

1. 知らないから
2. 知っているが、これまで利用する必要性を感じなかったから
3. 自分が欲しい情報がないから
4. 利用方法がわからないから
5. 利用する時間がないから
6. 理解できる言語がないから
7. 興味がなから

- 8. 利用するための機器（パソコン、スマホ等）やネット環境がないから
- 9. その他

問 21 豊島区の図書館を利用したことがありますか。

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用したことがない

問 22 問 21 で「①利用したことがない」と答えた方にお聞きします。
利用したことがない理由は何ですか。（複数回答可）

- 1. 知らないから
- 2. 場所がわからないから
- 3. 場所が遠いから
- 4. 利用方法がわからないから
- 5. 時間が合わないから
- 6. 日本語以外の言語が通じないから
- 7. 興味がないから
- 8. 母語の本がないから
- 9. その他

問 23 豊島区の区民ひろばを利用したことがありますか。

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用したことがない

問 24 問 23 で「①利用したことがない」と答えた方にお聞きします。
利用したことがない理由は何ですか。（複数回答可）

- 1. 知らないから
- 2. 場所がわからないから
- 3. 場所が遠いから
- 4. 利用方法がわからないから
- 5. 時間が合わないから
- 6. 日本語以外の言語が通じないから
- 7. 興味がないから
- 8. 宗教上の理由から
- 9. その他

問 25 豊島区の運動施設を利用したことがありますか。

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用したことがない

問 26 問 25 で「①利用したことがない」と答えた方にお聞きします。
利用したことがない理由は何ですか。（複数回答可）

- 1. 知らないから
- 2. 場所がわからないから
- 3. 場所が遠いから
- 4. 利用方法がわからないから
- 5. 時間が合わないから
- 6. 日本語以外の言語が通じないから
- 7. 興味がないから
- 8. 宗教上の理由から
- 9. その他

問 27 豊島区の多文化共生のあり方について、以下の中から重点を置くべきだと思う
項目を3つまで選んでください。*ここでは「外国人」は日本国籍以外の人を指します。

- 1. 生活情報を、英語・中国語・韓国語以外の言語でも提供すること
- 2. 生活情報の提供手段を多様化すること（SNS や ICT の活用）
- 3. 日本語教室を通いやすい場所に設けること
- 4. 生活リズムの違いを考慮した、日本語学習の機会を増やすこと
- 5. 日本で生活するために必要な日本の制度やルールを学ぶ機会を提供すること
- 6. 外国人の生活や就労のための相談窓口を設置すること

7. 外国人コミュニティへの支援をすること
8. 外国人の母語や母文化を伝える機会（学校の授業、シンポジウム、冊子等）を作ること
9. 外国人と日本人が交流する機会（イベント等）を作ること
10. 交流しながらお互いの言語を学習する機会を作ること
11. 日本人が多様な外国語や外国文化を学ぶ機会を設けること
12. 外国人の地域活動への参加を促すこと

ご協力ありがとうございました。

送信→ありがとうございました。

豊島区の外国人のための生活インフォメーションは、こちらをご覧ください。

<https://www.city.toshima.lg.jp/info/index.html>

■編集・執筆

金田智子（学習院大学文学部日本語日本文学科教授：編集・執筆）

唐木澤みどり（学習院大学国際センターPD研究員：編集・執筆）

豊島区政策経営部多文化共生推進担当課（執筆）

■調査協力

豊島区の外国籍区民の皆様

「日本語ネットとしま」の皆様

「としま子ども学習支援ネットワーク（とこネット）」の皆様

マハルザン ラビ

チョウチョウソー

「豊島区における日本語学習環境と情報交流に関する実態調査」（2020年度実施）
報告書

令和3年11月25日

発行：学習院大学国際センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1丁目5番1号